

LNUT-MSDR

マルチスキャン画像表示ソフト

ユーザーズガイド

Ver13.0.0以降に対応

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

- 1 本製品は、使用ライセンスの所有者のみに使用が許可されています。
- 2 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 3 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一御不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、弊社または御購入になられた販売店までご連絡下さい。
- 4 文中のイラストは、実際の製品と異なる場合があります。
- 5 記載事項には、各社の登録商標も含まれております。
- 6 本製品の使用・不使用により、万一損害が生じた場合のいかなる請求に関しても、一切その責を負いかねます。

1.概要

◇機能一覧(マルチスキャン)

◇機能一覧(ファイル転送)

2.セットアップ(マルチスキャン)

◇セットアップ手順・動作環境

◇コンソールソフトのインストール

◇クライアントソフトのインストール

3.初回起動時の設定(マルチスキャン)

◇初回起動 スタートアップ画面

◇コンピューター・クライアントNo. の設定

◇動作環境設定

4.基本操作(マルチスキャン)

◇起動と終了

◇コンソール画面の説明

◇メニューバーの説明①

◇メニューバーの説明②

◇受信画面の説明

◇クライアント画面の受信(表示方法)

◇スキャン

◇操作介入機能

◇操作ロック機能

◇ブラックアウト機能

◇ブラウザーロック

◇電源管理機能の説明

◇サインイン機能の追加説明

◇一斉電源管理

◇個別電源管理

◇バージョン情報・接続先の確認

5.設定(マルチスキャン)

- ◇環境設定
- ◇操作介入設定
- ◇電源管理設定(電源管理オプション)
- ◇電源管理設定(サインイン設定)
- ◇電源管理設定(MACアドレス設定)
- ◇ブラウザーロック設定
- ◇レイアウト設定
- ◇バージョン管理
- ◇設定ウィザード
- ◇表示設定(ツールバーの表示設定)
- ◇表示設定(機能設定)①
- ◇表示設定(機能設定)②
- ◇表示設定(機能設定)③
- ◇表示設定(機能設定)④
- ◇表示設定(表示名設定)
- ◇設定ファイルの保存先

6.セットアップ(ファイル転送)

- ◇セットアップ手順・動作環境
- ◇コンソールソフトのインストール
- ◇クライアントソフトのインストール

7.初回起動時の設定(ファイル転送)

- ◇ファイル転送アプリ コンピューターの登録

8.基本操作(ファイル転送)

- ◇ファイル転送アプリの呼び出し
- ◇ファイル転送アプリ コンソール画面の説明
- ◇メニューバーの説明
- ◇ツリー表示部・詳細表示部の説明
- ◇マルチスキャン画像表示ソフトとの切替
- ◇ファイル転送機能(共通)
- ◇ファイル転送機能(ファイル配布)
- ◇ファイル転送機能(ファイル回収)
- ◇ファイル転送機能(ファイル再配布)
- ◇製品PDFマニュアル・バージョン情報の確認

9.設定(ファイル転送)

- ◇ファイル転送機能環境設定
- ◇ファイル転送機能環境設定(基本設定)
- ◇ファイル転送機能環境設定(ファイル転送設定)
- ◇配布・回収フォルダーのデフォルト値設定
- ◇ファイル転送機能コンピューターの登録
- ◇ファイル転送機能レイアウト設定
- ◇学生氏名の登録(追加による登録)
- ◇学生氏名の登録(CSVファイルを使用した登録)
- ◇ファイル転送機能バージョン管理
- ◇ファイル転送機能表示設定(表示変更)
- ◇ファイル転送機能表示設定(詳細表示変更)
- ◇ファイル転送機能グループの登録
- ◇ファイル転送機能設定ファイルの保存先

10.分離統合機能(有償オプション)

◇分離統合モードの設定①

◇分離統合モードの設定②

◇分離統合モードの起動方法①

◇分離統合モードの起動方法②

11.通信仕様(マルチスキャン・ファイル転送)

12.サポート体制とサービス

概要(マルチスキャン)

マルチスキャンは、クライアントPCの画面をコンソールPCの画面に受信してクライアントPCの画面をモニタリングしたり、コンソール側からクライアントPCの電源管理やリモート制御したり、一時的に操作を禁止させたりするソフトウェアです。

複数のクライアントの画面を1つの画面に分割表示できるので、効率よくクライアントの学習状況の把握ができます。

画面受信とともに、各クライアントのアクティブウィンドウのタイトルと使用中のアプリケーション名を表示しますので、クライアントPCの使用状態を把握することができます。

機能一覧(マルチスキャン)

画面受信機能	<ul style="list-style-type: none"> • 教室の座席に合わせたレイアウト表示 • クライアントPCの分割画面表示 • 並列スキャン機能(PC教室以外に教官室等からもスキャンが可能) • フルスクリーン機能 • 巡回再開間隔変更可能 • 画面保存機能 <p>※並列スキャン機能で同時に受信が行えるコンソールソフトは各クライアントごとに2台までです。</p>
クライアントPCの状態把握	<ul style="list-style-type: none"> • アクティブウィンドウタイトルの表示 • 使用中アプリケーション名の表示
クライアントPCへの制御機能	<ul style="list-style-type: none"> • コンソールPCからクライアントPCの遠隔操作 • クライアントPCの操作をロックして一時的に操作を禁止 • クライアントPC画面をブラックアウト制御 • クライアントPCのブラウザロック制御 • クライアント用ソフトの一斉バージョンアップ機能
電源管理機能	<ul style="list-style-type: none"> • コンソールPCからクライアントPCの一斉/個別の電源管理 (電源のON/OFF、再起動、サインイン、サインアウト) <p>※サインイン機能によって、一定の条件でコンピューターのロック状態を解除可能です。</p>
機能のカスタマイズ	<ul style="list-style-type: none"> • 機能の表示、非表示及び表示順序の変更可能
統合機能 (有償オプション)	<ul style="list-style-type: none"> • 2システムを統合して運用することができます。

※複数のコンソールソフトを同時に実行した場合、画面受信以外の機能で不整合が生じる場合があります。例えば、他のコンソールの制御状態に関わらず、コンソール終了時に操作ロック・ブラウザロック・ブラックアウトなどの制御が解除されます。

概要(ファイル転送)

ファイル転送機能(レッスンアシスト機能限定版 F)は、コンソールPCとクライアントPC間で、ファイルを配布したり、回収したりするソフトウェアです。

複数のクライアントに対して一斉に複数のファイルの配布や回収が行えるため、効率よく学習を進めることができます。

機能一覧(ファイル転送)

ファイル転送機能(レッスンアシスト機能限定版 F)呼び出し	<ul style="list-style-type: none">• 教材ファイルの配布やクライアントからファイルを回収するファイル転送用のアプリケーション(レッスンアシスト機能限定版 F)を呼び出します。 <p>※ファイル転送アプリ(レッスンアシスト機能限定版 F)がインストールされている必要があります。</p>
---	---

マルチスキャンソフトのセットアップ手順

1. コンソールソフトのインストール
 2. クライアントソフトのインストール
 3. コンソールソフトの初回起動時の設定
- ※ 介入制御のためにマルチスキャンソフトのインストール時にUltraVNCのViewerソフト(コンソール側)・Serverソフト(クライアント側)がインストールされます。

動作環境

セットアップ前に以下の動作環境であるかご確認ください。

OS:

- ・Windows 10 64ビット / Windows 11

コンピューター:

- ・Wake On LANに対応していること
- ・コンソールPCおよびクライアントPCのグラフィックボードのビデオメモリは256MB以上を推奨

ネットワーク:

- ・TCP/IP、UDP が正常に動作する環境

Attention

- ・セットアップにはCD-ROMドライブが必要です。
- ・クライアントPCのWake On LAN機能が有効になっていることを確認してください。(確認方法について各々のPCの説明書を参照してください。)
- ・電源管理機能の中のサインイン機能及び簡易サインイン機能をご使用になられる場合、「対話型ログオン:ログオン時のユーザーへのメッセージのタイトル」と「対話型ログオン:ログオン時のユーザーへのメッセージのテキスト」には何も入力しないでください。
- ・Windowsの機能「コンピューターのロック」状態のクライアントPCに対して制御を行うことはできません。(ただし次の制御を除く。サインアウト・シャットダウン・再起動・サインイン機能によるサインイン中のユーザーと同一ユーザーに対するコンピューターのロック状態の解除)
- ・OSがCドライブ以外のドライブにインストールされている場合はサインイン/簡易サインイン機能は使用できません。
- ・介入機能では VNC(Virtual Network Computing)を使用しています。マルチスキャンソフトからインストールされるUltraVNC以外を使用している場合正しく動作しない恐れがあります。
- ・コントロールパネルのディスプレイの設定で、サイズは推奨値または規定値で運用してください。それ以外の値では正常に表示されない機能があります。
- ・本システムはWindowsのユーザー切り替え機能には対応しておりません。別のユーザーで使用する場合は必ず、現在のユーザーをサインアウトしてから別のアカウントでサインインして下さい。
- ・マルチスキャンソフトをアンインストールする時は、手動でUltraVNCもアンインストールを行ってください。

1 セットアップの準備



コンソールPCを起動

Administrator又は、同等の権限のユーザーアカウントでサインイン

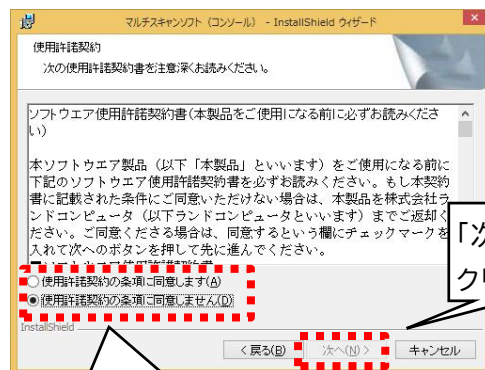
※実行中のアプリケーションはすべて閉じてください

コンソールソフトのセットアップは、CDの以下の階層に保存されています。

CD¥MSDR Vxxx¥Console

※「xxx」にはバージョンナンバーなどが入ります。

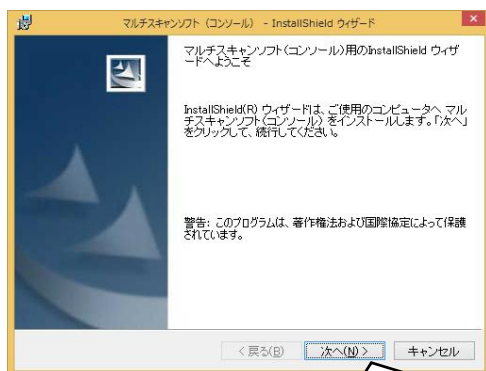
3 使用許諾契約への同意



「次へ」をクリック

使用許諾契約の内容を確認し、契約の同意の有無を選択

2 セットアッププログラムの実行



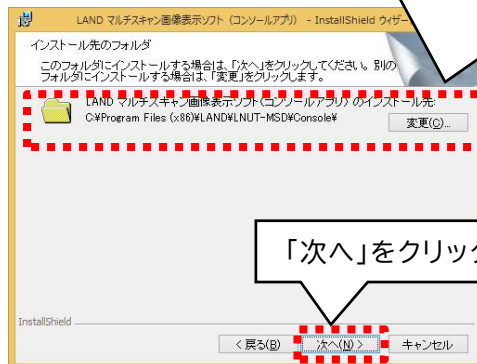
入手したセットアップ「Setup.exe」を実行

4 セットアップ先フォルダの指定

デフォルトインストール先

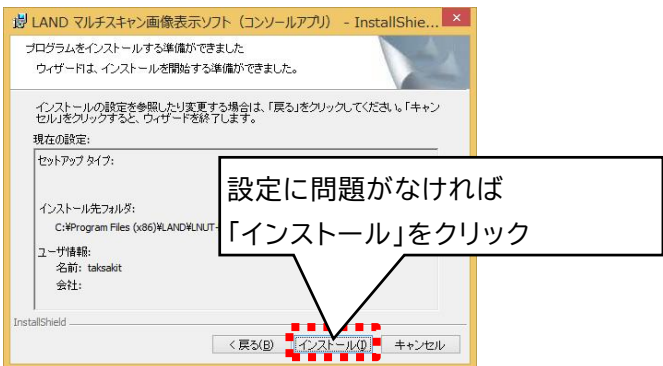
C:¥Program Files (x86)¥LAND¥LNUT-MSD1¥Console

※必要に応じてインストール先を変更してください。



「次へ」をクリック

5 インストール開始



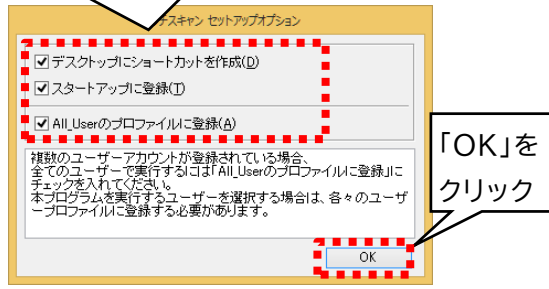
設定に問題がなければ「インストール」をクリック

※設定をやり直す場合は、「戻る」「キャンセル」ボタンで設定をやり直してください。

InstallShield ウィザードを完了しましたという画面が表示されたら「完了」ボタンを押します。

6 セットアップオプションの設定

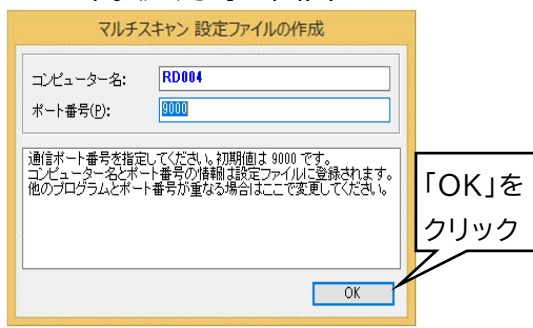
必要に応じてチェックしてください。



「OK」をクリック

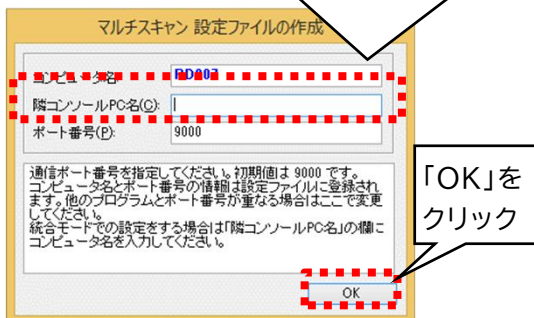
7 設定ファイルの作成

※単独運用時の画面



「OK」をクリック

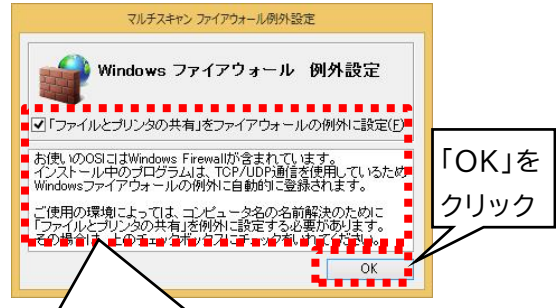
分離統合環境(有償オプション)でご使用の場合だけ、上記の画面ではなく当表示になります。「隣コンソールPC名」に隣コンソールコンピューター名を入力します。



「OK」をクリック

※他のソフトウェアと競合する場合などには、ポート番号をご変更ください。ポート番号は全クライアントのポート番号と同一にする必要があります。

8 ファイアウォールの設定

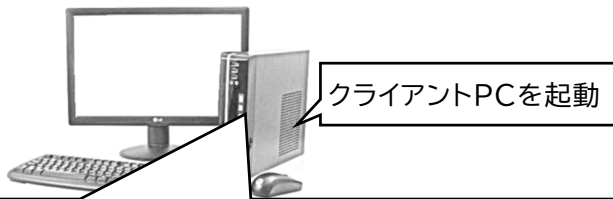


「OK」をクリック

メッセージに従って設定してください。

※一度インストールした環境の場合、この画面は表示されません。

1 セットアップの準備



Administrator又は、同等の権限のユーザーアカウントでサインイン
※実行中のアプリケーションはすべて閉じてください

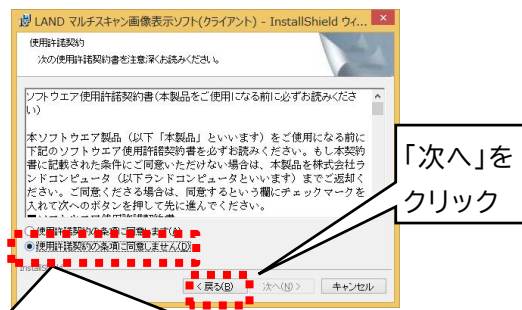
クライアントソフトのセットアップは、CDの以下の階層に保存されています。
CD¥MSDR Vxxx¥Client
※「xxx」にはバージョンナンバーなどが入ります。

2 セットアッププログラムの実行



入手したセットアップ「Setup.exe」を実行

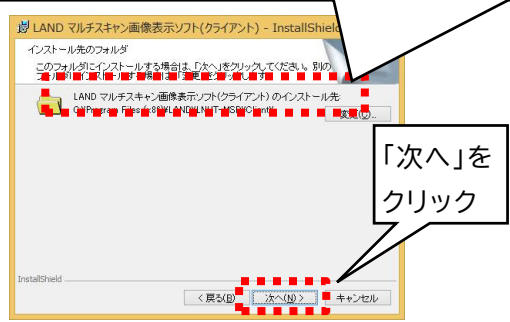
3 使用許諾契約への同意



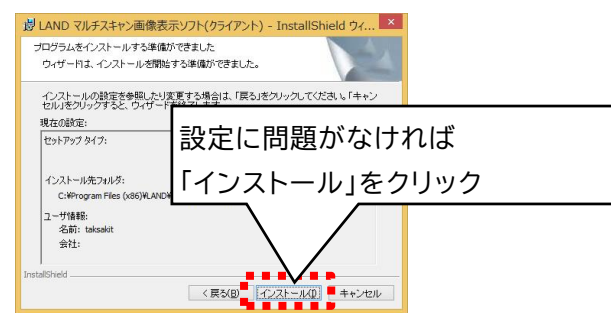
使用許諾契約の内容を確認し、契約の同意の有無を選択

4 セットアップ先フォルダの指定

デフォルトインストール先
C:¥Program Files (x86)¥LAND¥LNUT-MSD1¥Client
※必要に応じてインストール先を変更してください。



5 インストール開始



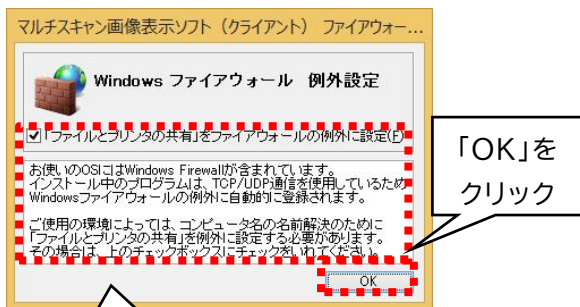
※設定をやり直す場合は、「戻る」「キャンセル」ボタンで設定をやり直してください。

InstallShield ウィザードを完了しましたという画面が表示されたら「完了」ボタンを押します。

6 設定ファイルの作成



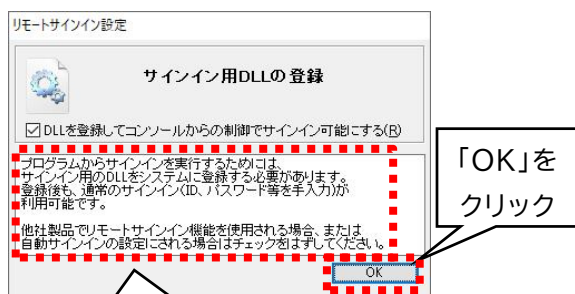
7 ファイアウォールの設定



メッセージに従って設定してください。

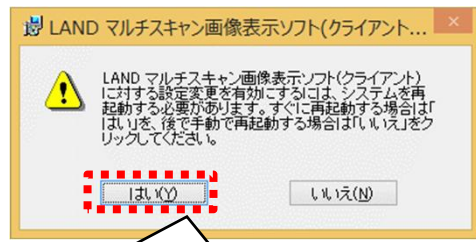
※一度インストールした環境の場合、この画面は表示されません。

8 リモートサインイン設定



メッセージに従って設定してください。

9 クライアントPCの再起動



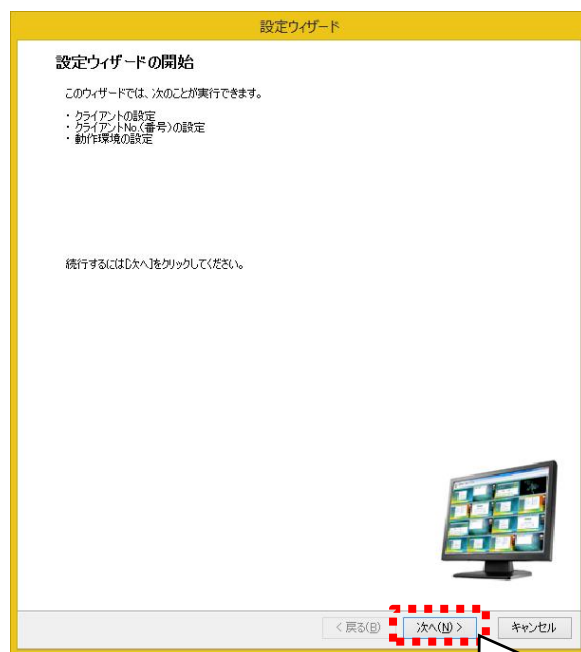
クライアントPCの再起動を行ってください。

1 起動



デスクトップの
ショートカットアイコンを
ダブルクリック

2 初回起動時画面(初回設定)



「次へ」をクリック

2 コンピューター・クライアントNo. の設定

登録したいコンピューター名のチェックボックスをクリック

※クリックした順番にクライアントNo.が登録されます。

※エクスプローラーのネットワークに表示されるコンピューター名が「取得」クリックで表示されます。

1回で全コンピューター名が取得されない場合は、再度「取得」をクリックしてください。

※「追加」ボタンから直接コンピューター名を入力することもできます。

コンピューター・クライアントNo.の設定

コンピューター名	IPアドレス	No.
<input type="checkbox"/> C01	192.168.0.67	
<input type="checkbox"/> CS1PC43	192.168.0.44	
<input type="checkbox"/> RD007	192.168.0.18	
<input type="checkbox"/> RD-EP01	192.168.0.46	

取得(G)
全選択(S)
リセット(B)

追加(A)
削除(D)
全削除(E)

<戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

コンピューター・クライアントNo.の設定を行います。
取得を実行し、コンピューターを取得してください。
クライアントNo.欄にコンピューター名を入力してください。

「取得」をクリック

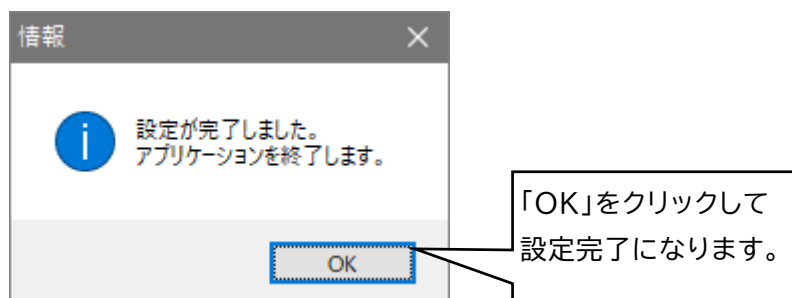
「追加」ボタン

「次へ」をクリック

3 動作環境の設定



各種設定	各種設定の説明
巡回再開間隔	巡回再開間隔とは一旦全ての端末を巡回し、再度最初から巡回を始めるまでの間隔のことを表します。 ネットワークやPCの状況によって切り替わる速度は多少異なります。
表示位置	マルチスキャンソフトの起動するモニターを「終了時の表示を記憶」「プライマリ」「セカンダリ」から選択します。
画面分割	「画面分割」の初期値を設定します。
起動時設定	コンソールソフト起動時にブラウザーロック制御を実行するか設定します。 ブラウザーロック制御につきましては、「4 基本操作(マルチスキャン) - ブラウザーロック」を参照してください。



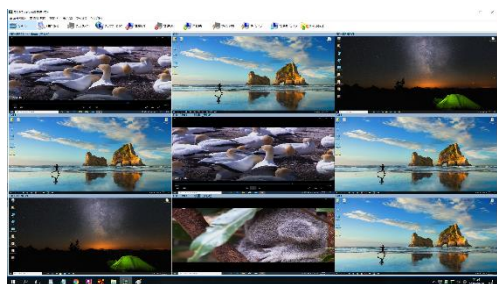
1 起動



スタートアップに登録してある場合、サインインすると自動的に起動します。

手でコンソールソフトを起動する場合は、スタートメニューから[マルチスキャン]を選択ください。

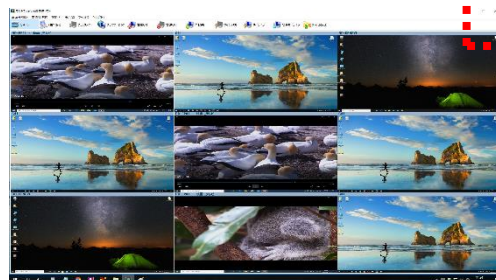
2 コンソールソフト起動



マルチスキャン画像表示ソフトのコンソールソフトのトップ画面が開きます。

3 コンソールソフト終了

「×」ボタンをクリックすると終了します。



1 クライアントソフトの起動

Windowsが起動すると自動的に起動



コンソールPCとの接続が確立

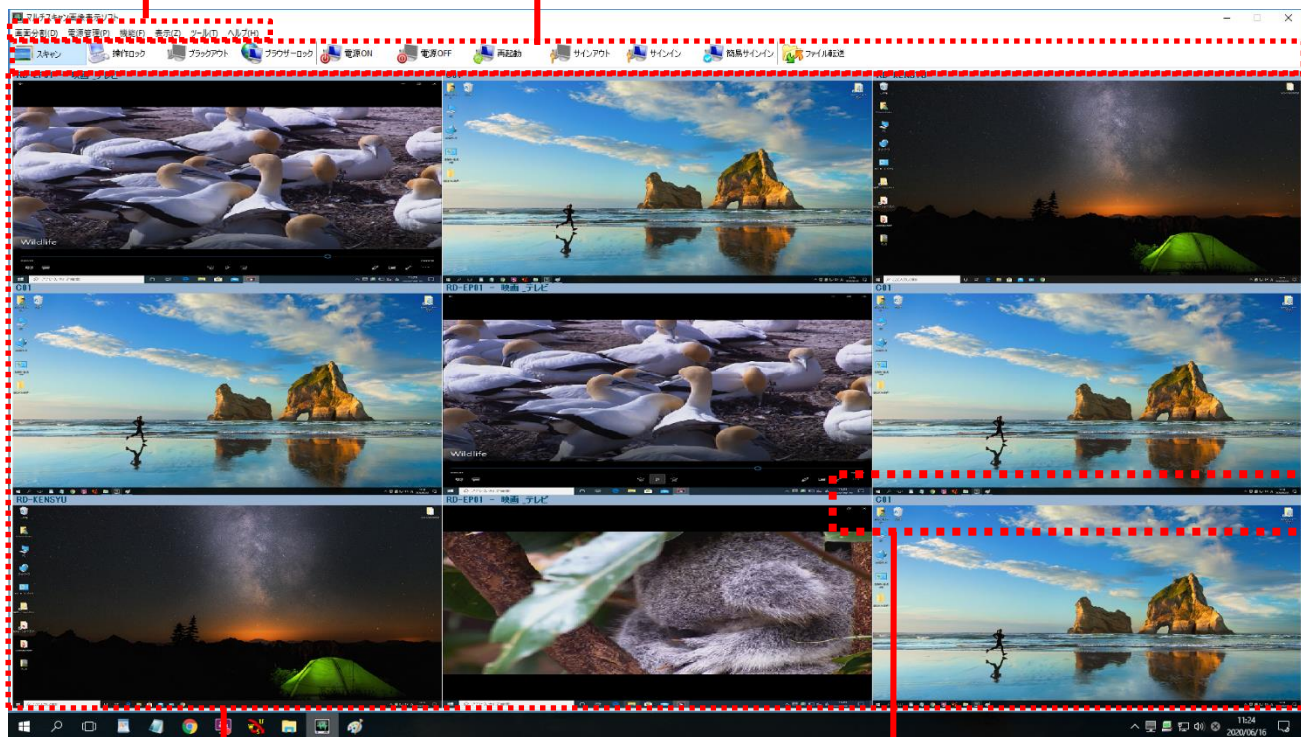
Attention

- ・クライアントソフトは、Windowsの終了時に自動的に終了します。

4 基本操作(マルチスキャン) - コンソール画面の説明

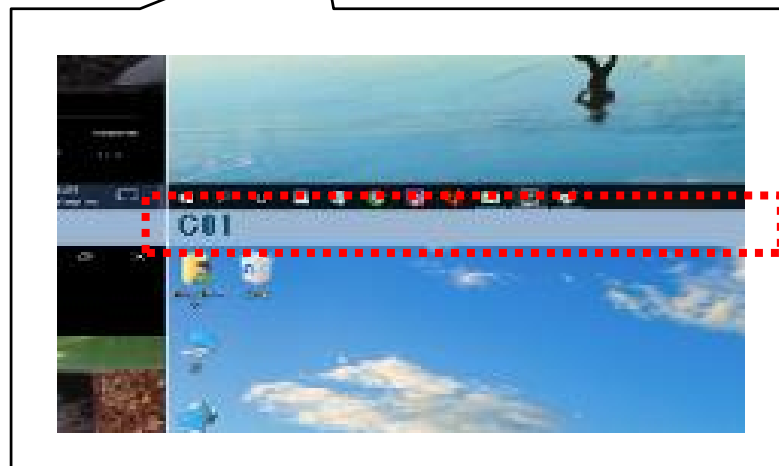
メニューバー

ツールバー



クライアントPCの受信画面

拡大表示




タイトルバー
(クライアントPCの状態の表示)

■ マルチスキャン画像表示ソフト

画面分割(D) 電源管理(P) 機能(F) 表示(Z) ツール(T) ヘルプ(H)

画面分割	<p>クライアントPCの画面を複数表示してモニタリングすることができます。</p> <p>画面表示には、分割画面表示（1、4、9、16、25、36、49、64、81、100分割画面）のほか、教室の座席配置に合わせたレイアウト表示が可能です。</p>
電源管理	<p>コンソールPCからクライアントPCの電源の管理ができます。</p> <p>以下の個別、及び、全クライアントPCへの一斉制御が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源ON/電源OFF • 再起動 • サインイン/サインアウト/簡易サインイン <p>※個別電源管理を実施する場合は、クライアント画面の受信画面がレイアウト表示に切り替わります。</p> <p>※簡易サインインの説明は「4 基本操作（マルチスキャン） - 電源管理機能の説明」を参照してください。</p>
機能	<p>以下、3種の全体制御とファイル転送機能の呼び出しができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 操作ロック : クライアントのキーボード、マウスの操作不可 • ブラックアウト : クライアントPCの画面をブラックアウト状態に変更、キーボード、マウスの操作不可 • ブラウザーロック : 指定ブラウザの起動を禁止 • ファイル転送 : ファイル転送機能（レッスンアシスト機能限定版F）を呼び出します。
表示	<p>機能表示や受信画面の表示の設定ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ツールバーを表示 : ツールバーの表示/非表示を設定 • 機能設定 : ツールバーやクライアント画面の受信画面右クリックで表示する機能を選択 • 表示名設定 : 受信画面のタイトルバーの表示形式を変更

 マルチスキャン画像表示ソフト

画面分割(D) 電源管理(P) 機能(F) 表示(Z) ツール(T) ヘルプ(H)

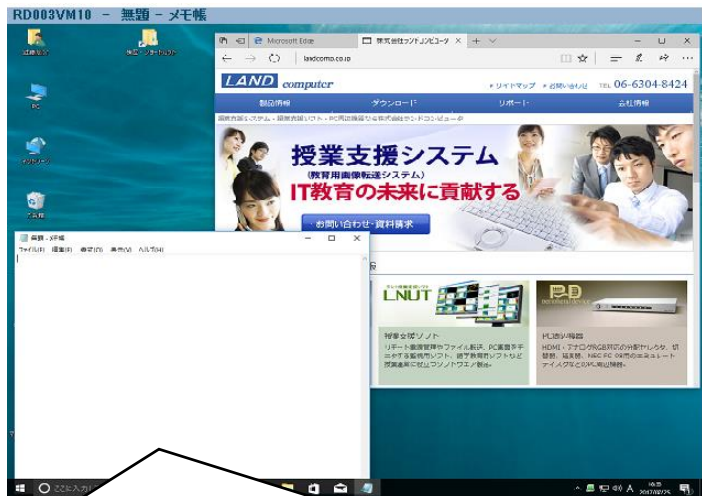
以下の設定や管理ができます。

- 環境設定 : 基本的な動作条件を設定
- 操作介入設定 : 操作介入を解除するための解除キーを設定
- 電源管理設定 : サインイン時のユーザー名、パスワード、サインイン先の設定、電源ON機能に関連するMACアドレスの登録等を設定
- ブラウザーロック設定 : 使用制限するブラウザーを登録/削除
- レイアウト設定 : 実際の教室の座席配置に合わせて、クライアント受信画面をコンソールソフトの画面上に配置し、レイアウトを設定
- バージョン管理 : クライアントソフトのバージョンを取得、表示、クライアントソフトを一斉にUPDATEができます。
- コンピュータの登録 : 現在の登録からクライアントPCの追加と削除を行います。
※設定完了後追加したPCに対してレイアウト設定・電源管理設定を行ってください。

[ツール](#)

[ヘルプ](#)

製品PDFマニュアル、バージョン情報の確認ができます。



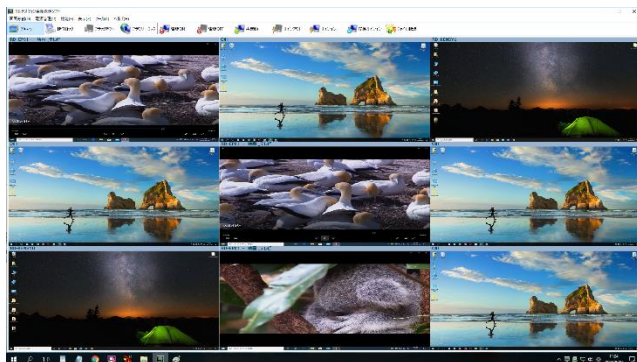
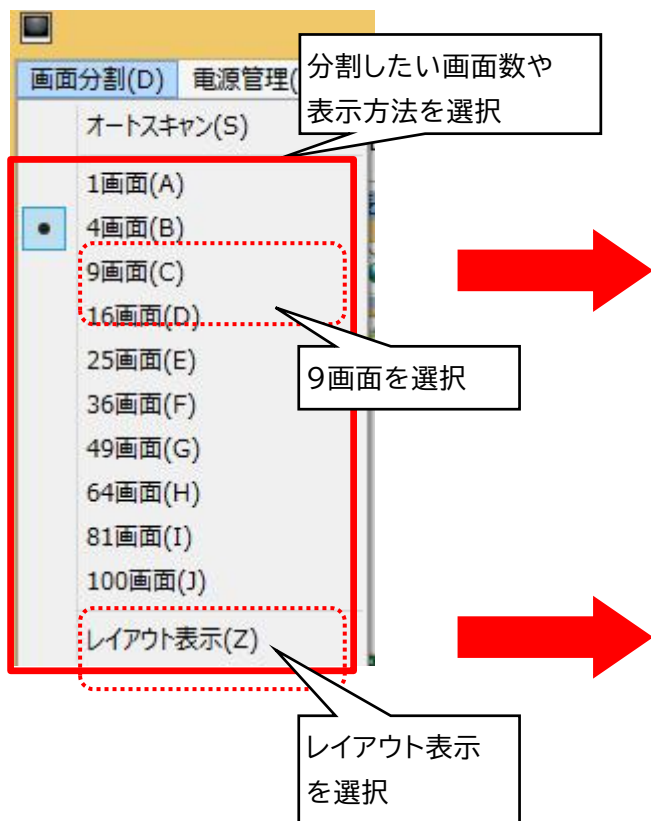
— タイトルバー
(クライアントPCの
状態の表示)

— 受信した
クライアントPC画面

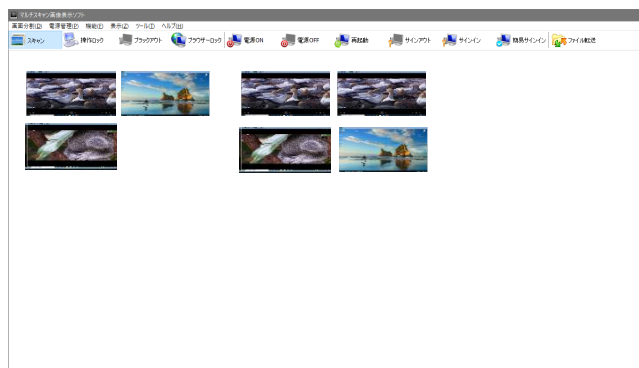
コンソール画面には、クライアントPCの画面を受信した画像が表示されます。
 受信画面が、画面分割数と出席数に応じて表示されます。
 受信画面のタイトルバーには、コンピューター名が表示されます。
 ※受信画面のタイトルバーの表示形式は、メニューバーの「表示」から変更することができます。

タイトルバー	クライアントPCの状態	クライアントPCの状態の説明
<p>文字色: 灰色</p>	<p>欠席 (シャットダウン)</p>	<p>クライアントPCがシャットダウン状態。 またはコンソールソフトとの通信が確立していない状態。</p>
<p>文字色: 黒色 サインイン画面</p>	<p>欠席 (サインイン前)</p>	<p>クライアントPCが電源ONかつサインイン前の状態。</p>
<p>文字色: 紺色</p>	<p>出席 (サインイン後)</p>	<p>クライアントPCがサインインした後の状態。 アクティブウィンドウのタイトルがタイトルバーに表示されます。 マウスカーソルを受信画面に合わせると、アプリケーション名を表示します。</p>

1 分割受信画面/レイアウト表示

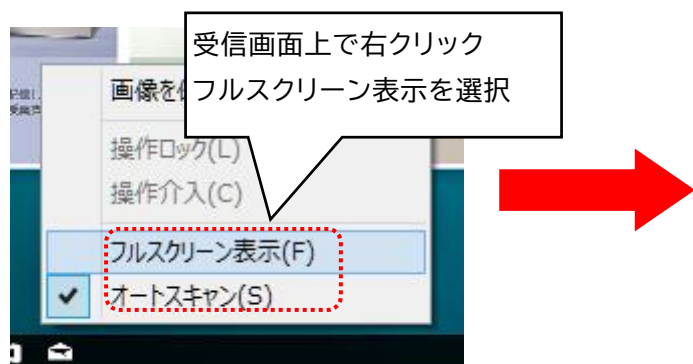


分割受信画面

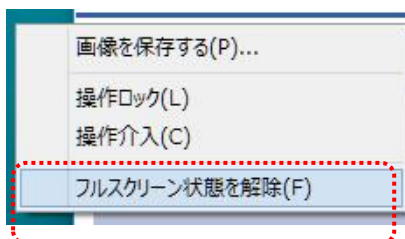
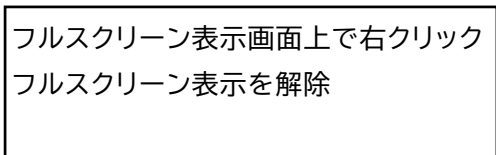


レイアウト表示

2 フルスクリーン表示

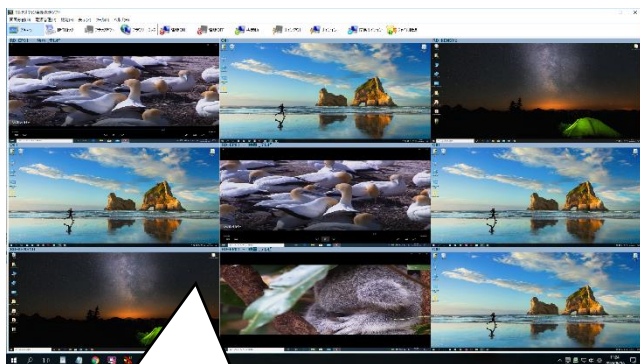


フルスクリーン表示



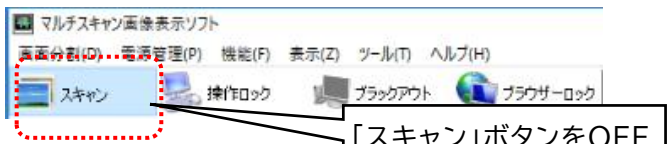
※フルスクリーン表示/解除操作は受信画面上でダブルクリック操作でも可能です。

1 スキャンの開始

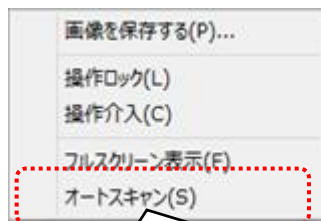


コンソールソフトが起動すると、クライアントNoの若い順序で出席状態のクライアントPCの画面受信を開始します。

2 スキャンの一時停止



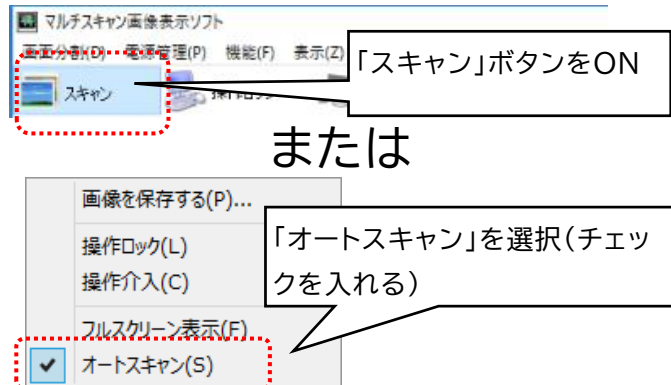
または



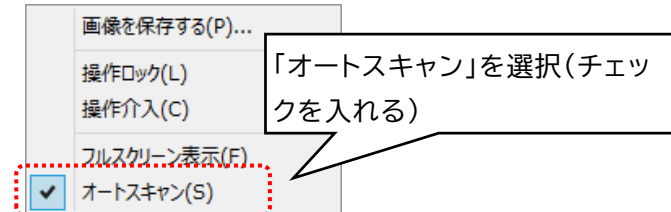
分割画面上でマウスを右クリック
「操作メニュー」が表示、
「オートスキャン」のチェックを外す。

※環境設定や電源管理設定等の設定関係のダイアログを開いた場合も、閉じるまでスキャンは一時停止します。

3 スキャンの再開

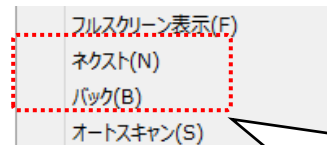


または



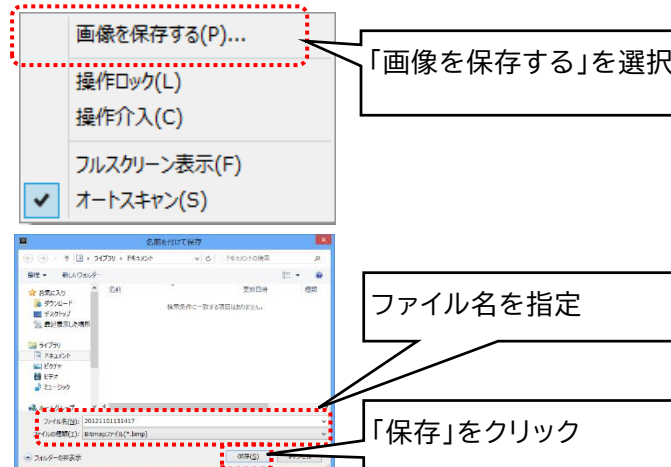
※画面分割数の変更やレイアウト表示への変更でも一時停止中のスキャンが再開されます。

4 手動スキャン



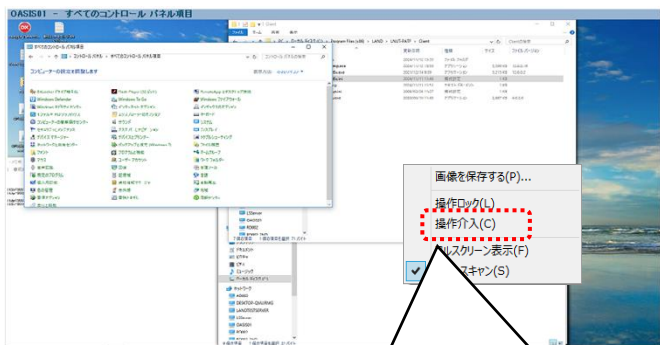
1画面表示の場合、手動で巡回できます。分割画面上でマウスを右クリックして操作メニューを表示
 ネクスト: 次のクライアントNo.のクライアント画面を表示
 バック: 直前のクライアントNo.のクライアント画面を表示

5 受信画面を画像で保存する



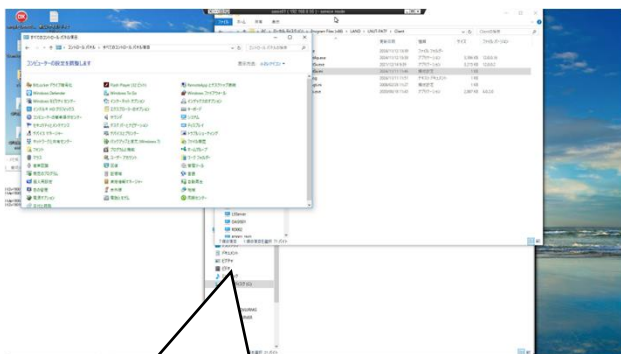
※画面の保存は、分割画面では分割表示されている大きさ、フルスクリーンモードでは、フルスクリーンの大きさのまま保存します。

1 操作介入の開始



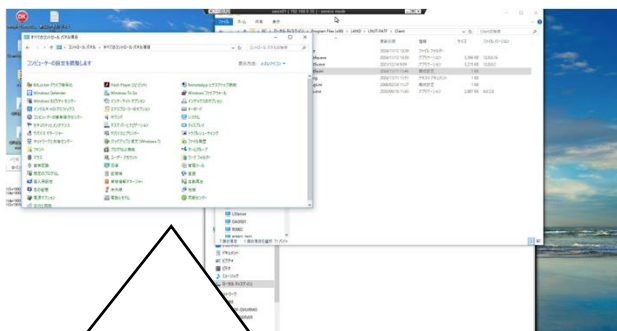
操作介入したいクライアントの受信画面を右クリック
操作メニューの「操作介入」を選択

2 操作介入



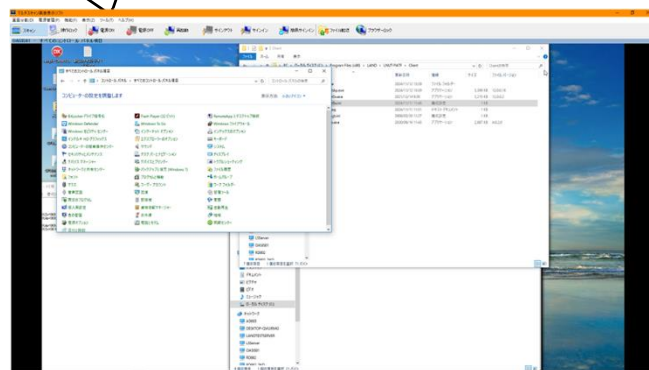
フルスクリーンモードに変化(操作介入状態)
コンソールPCからクライアントPCの遠隔操作ができます。
※クライアント側のキーボード・マウスはロック状態になります。
※コンソール画面起動後すぐに介入操作をすると接続失敗します。コンソール画面10秒程度待ってから介入を行ってください。

3 操作介入の終了



指定の解除キーを押下
(デフォルトでは[Ctrl]+[F1]キー。
「6 設定 - 操作介入設定」で変更されている場合はそのキーを入力)

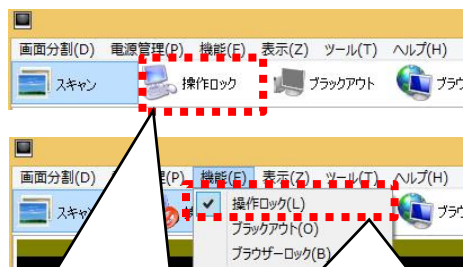
コンソール画面に戻る



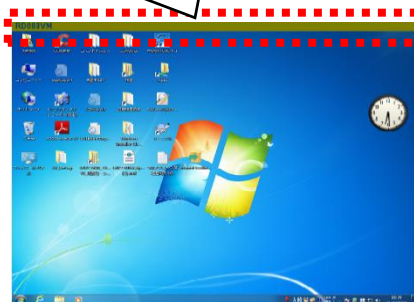
Attention

- 操作介入機能では VNC(Virtual Network Computing)を使用しています。マルチスキャンソフトからインストールされる UltraVNC以外を使用している場合正しく動作しない恐れがあります。
- 操作介入は、以下の場合に操作メニューの「操作介入」が有効になり、選択することができます。
 - 1)フルスクリーンモードの場合
 - 2)レイアウト表示の場合
 - 3)分割数がクライアントPC登録台数よりも多い場合
- コンソールソフト起動後クライアントPCは介入可能なPCとして、コンソールPCのIPアドレスを再起動するまで保持します。コンソールPCのIPアドレスが可変な環境ではクライアントPCは定期的に再起動することを推奨します。

1 全員の一齐操作ロック/解除



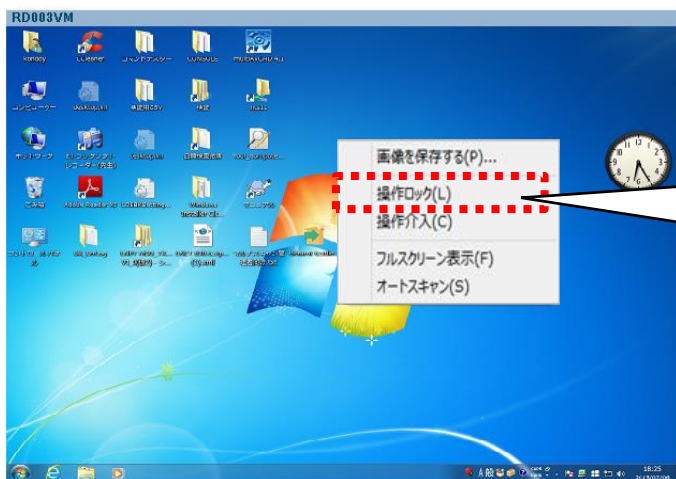
操作ロック中はタイトルバーの色が変化



「ツールバー」の「操作ロック」またはメニューバーの「機能」-「操作ロック」をクリック

	ツールバー	メニューバー 「機能」	マウスポインター
操作ロック解除	操作ロック	操作ロック(L) ブラックアウト(O) ブラウザロック(B)	
操作ロック中	操作ロック	<input checked="" type="checkbox"/> 操作ロック(L) ブラックアウト(O) ブラウザロック(B)	

2 個別の操作ロック/解除



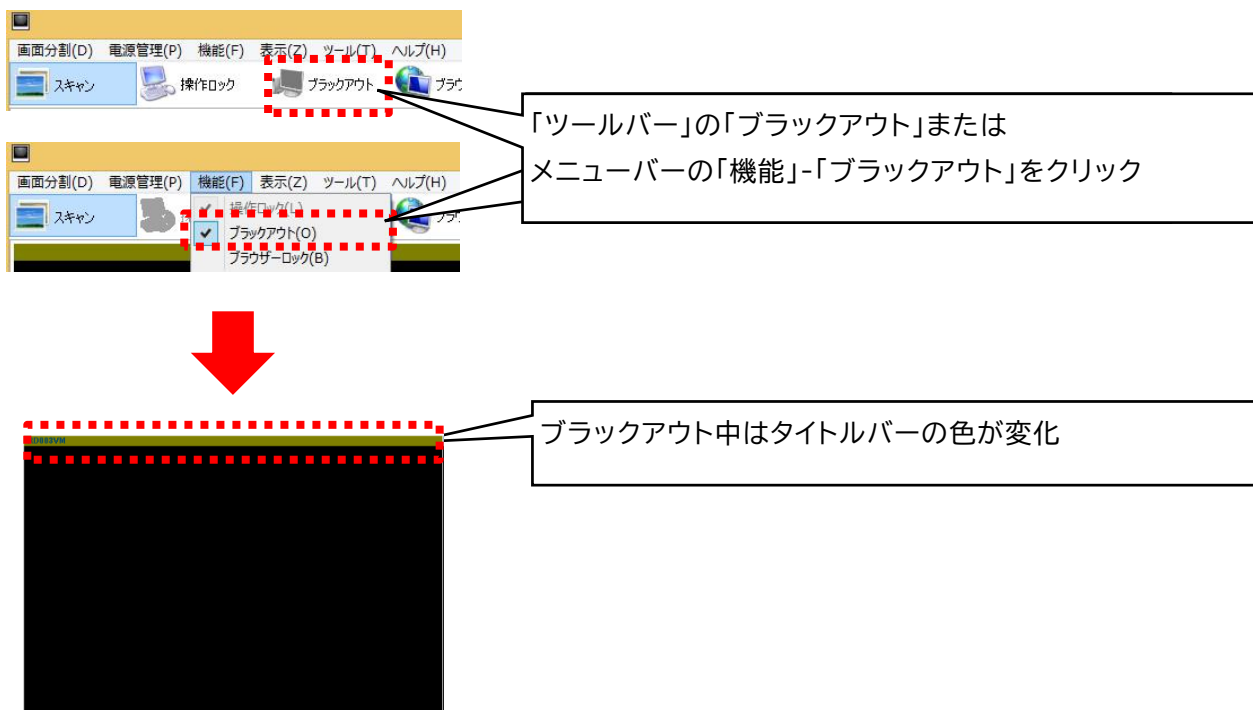
操作ロックしたいクライアントの受信画面を右クリック
操作メニューの「操作ロック」を選択
※解除も同様の操作で行います。

Attention

・操作ロックは、以下の場合に操作メニューの「操作ロック」が有効になり、選択することができます。

- 1) フルスクリーンモードの場合
- 2) レイアウト表示の場合
- 3) 分割数がクライアントPC登録台数よりも多い場合

4 基本操作(マルチスキャン) - ブラックアウト機能

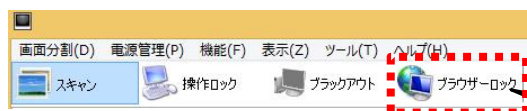


	ツールバー	メニューバー 「機能」
ブラックアウト解除		<input type="checkbox"/> 操作ロック(L) <input type="checkbox"/> ブラックアウト(O) <input type="checkbox"/> ブラウザーロック(B)
ブラックアウト中		<input checked="" type="checkbox"/> 操作ロック(L) <input checked="" type="checkbox"/> ブラックアウト(O) <input type="checkbox"/> ブラウザーロック(B)

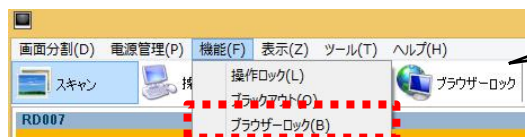
Attention

- ・ブラックアウトの制御対象は、表示中の教室単位での一斉ブラックアウト(全員)のみになります。
- ・ブラックアウト中のクライアントは、PCの音声出力がミュート状態になります。

4 基本操作(マルチスキャン) - ブラウザーロック



「ツールバー」の「ブラウザロック」または
メニューバーの「機能」-「ブラウザロック」をクリック



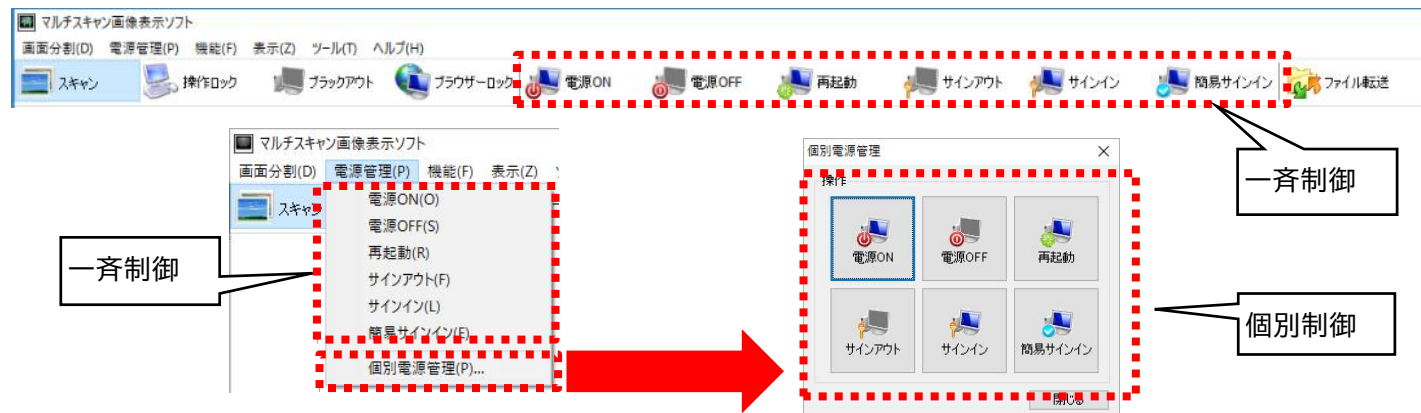
ブラウザロック状態

	ツールバー	メニューバー 「機能」
ブラウザロック解除	 ブラウザーロック	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> 操作ロック(L) ブラックアウト(O) ブラウザーロック(B) </div>
ブラウザロック中	 ブラウザーロック	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> 操作ロック(L) ブラックアウト(O) <input checked="" type="checkbox"/> ブラウザーロック(B) </div>

Attention

- ・制御対象は、一斉(全員)制御のみになります。

4 基本操作(マルチスキャン) - 電源管理機能の説明



機能	機能説明	対象PC	終了方法
電源ON	電源がOFF状態のクライアントPCの電源をリモートでONにします。	電源OFF	-
電源OFF	サインインしているか、もしくはサインイン画面のクライアントPCの電源をリモートでOFFにします。 サインインしているPCの終了方法については、通常終了と強制終了の何れかを選択します。	使用中 サインイン 画面	通常終了 強制終了
再起動	サインインしているか、もしくはサインイン画面のクライアントPCをリモートで再起動させます。 サインインしているPCの終了方法については、通常終了と強制終了の何れかを選択します。	使用中 サインイン 画面	通常終了 強制終了
サインアウト	サインインしているクライアントPCをリモートでサインアウトします。 Windowsの終了方法については、通常終了と強制終了の何れかを選択します。	使用中	通常終了 強制終了
サインイン	サインイン画面のクライアントPCをリモートでサインインさせます。また、既にサインインしているクライアントユーザーと同一ユーザーへのリモートサインイン機能を実行することによって、そのクライアントの「コンピューターのロック」状態を解除することができます。 クライアントPC毎に設定したアカウントとパスワードの選択と、サインイン先を選択することができます。	サインイン 画面	-
簡易サインイン	サインイン画面のクライアントPCを対象に、簡易サインインダイアログを表示して、入力した同一ユーザー名・パスワードでサインインします。	サインイン 画面	-

Attention

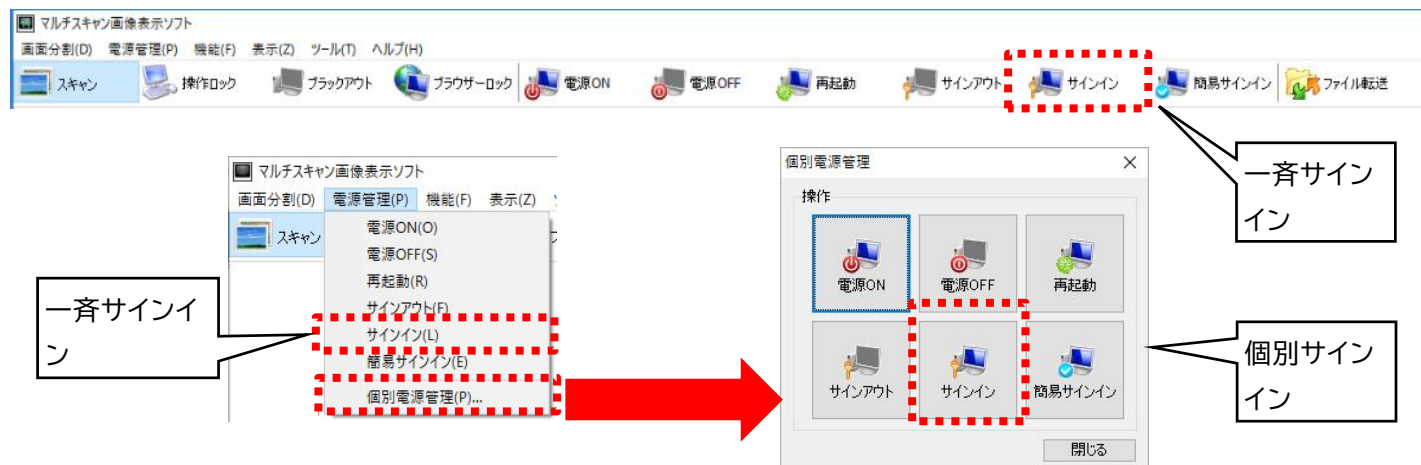
- ・クライアントPCがWake On LANに対応していて、BIOSがWake On LANの機能が有効に設定されている必要があります。
- ・初期設定ウィザードもしくは環境設定で、クライアントPCのLANボードのMACアドレスを取得する必要があります。

サインイン機能によるコンピューターのロック解除

既にサインインしているクライアントユーザーと同一ユーザーへのリモートサインイン機能を実行することによって、そのクライアントの「コンピューターのロック」状態を解除することができますが、

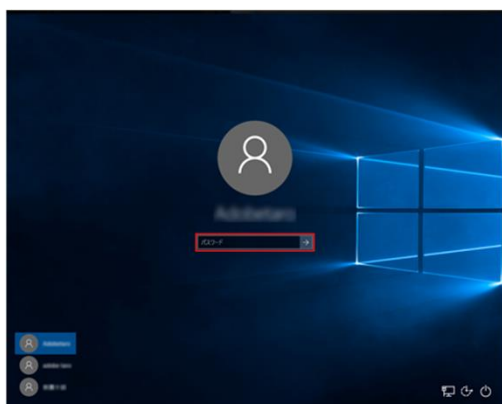
既にサインインしているクライアントユーザーとは別のユーザーを指定してリモートサインインを行った場合は、「コンピューターのロック」状態を解除することはできません。

コンソールの操作画面

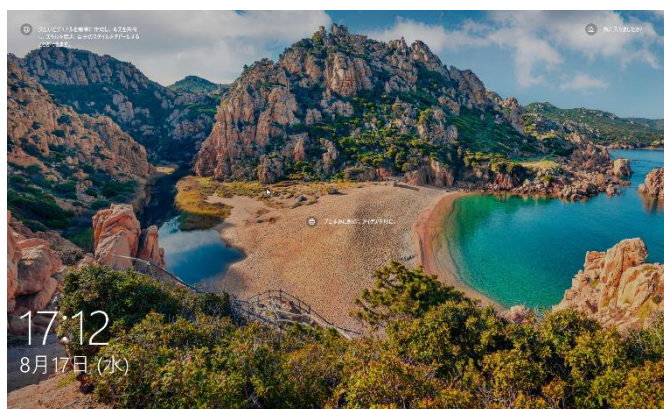


クライアントの画面例

コンピューターのロック画面

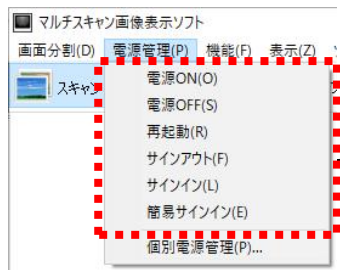


コンピューターのロック画面

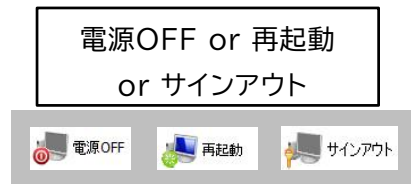
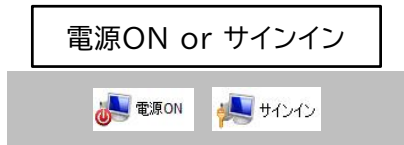


サインインを行ってもこのような画面から変化がない場合、リモートサインインで指定しているユーザーとは別のユーザーで既にサインイン中である可能性があります。

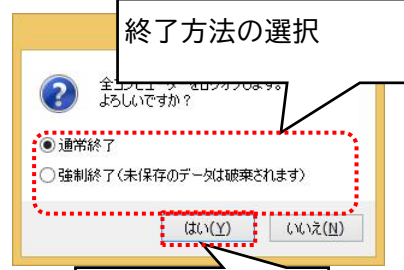
4 基本操作(マルチスキャン) - 一斉電源管理



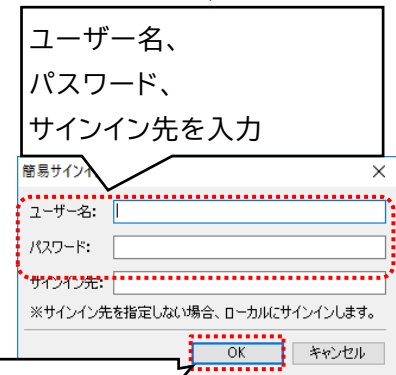
「ツールバー」の電源管理機能、またはメニューバーの「電源管理」から制御を選択してクリック



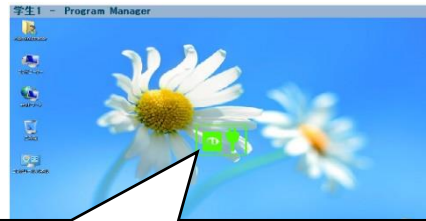
電源管理制御マーク表示
(選択した電源管理制御を実行)



「はい」を選択



「OK」を選択



電源管理制御マーク表示
(選択した電源管理制御を実行)

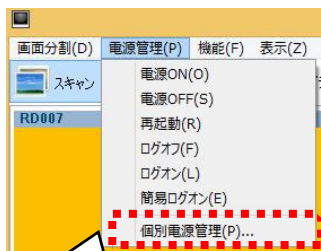


電源管理制御マーク表示
(選択した電源管理制御を実行)

Attention

- 通常終了の場合は、アプリケーションが起動して編集中で未保存のファイルなどがあればファイルの保存を促すメッセージが表示されますが、強制終了の場合は、アプリケーションが起動して未保存のデータがある場合でも保存せずにプログラムを強制終了します。

1 個別電源管理を開く



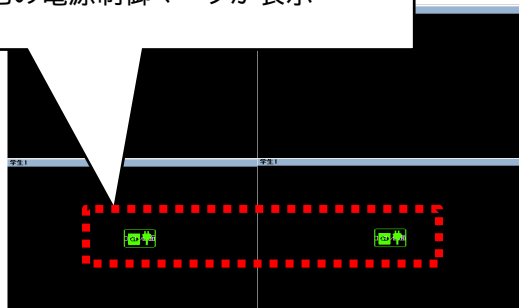
メニューバーの「電源管理」-
「個別電源管理」をクリック



「個別電源管理」ダイアログが表示

2 対象クライアントの選択

クリックしたアイコンに
緑色の電源制御マークが表示



「個別電源管理」の対象
にしたクライアントPCをクリ
ック

3 個別電源管理制御の実施



使用したい電源管理ボタンをクリック



or



を選択

電源管理制御を実行



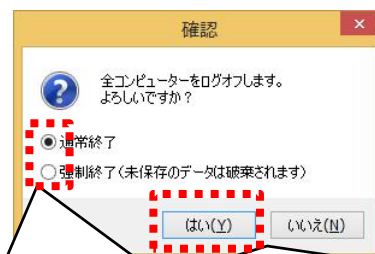
or



or



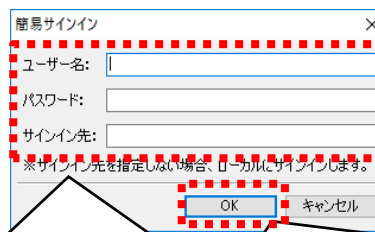
を選択



終了方法選択後、「はい」をクリックで電源
管理制御を実行



を選択

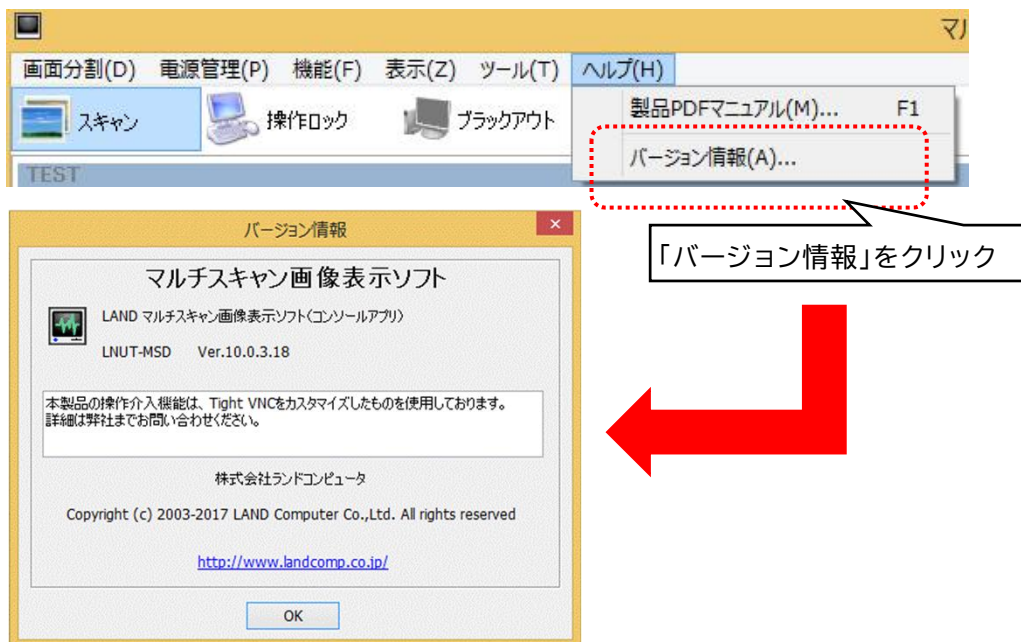


ユーザー名、パスワード、サインイン先を入力後「
OK」をクリックで電源管理制御を実行

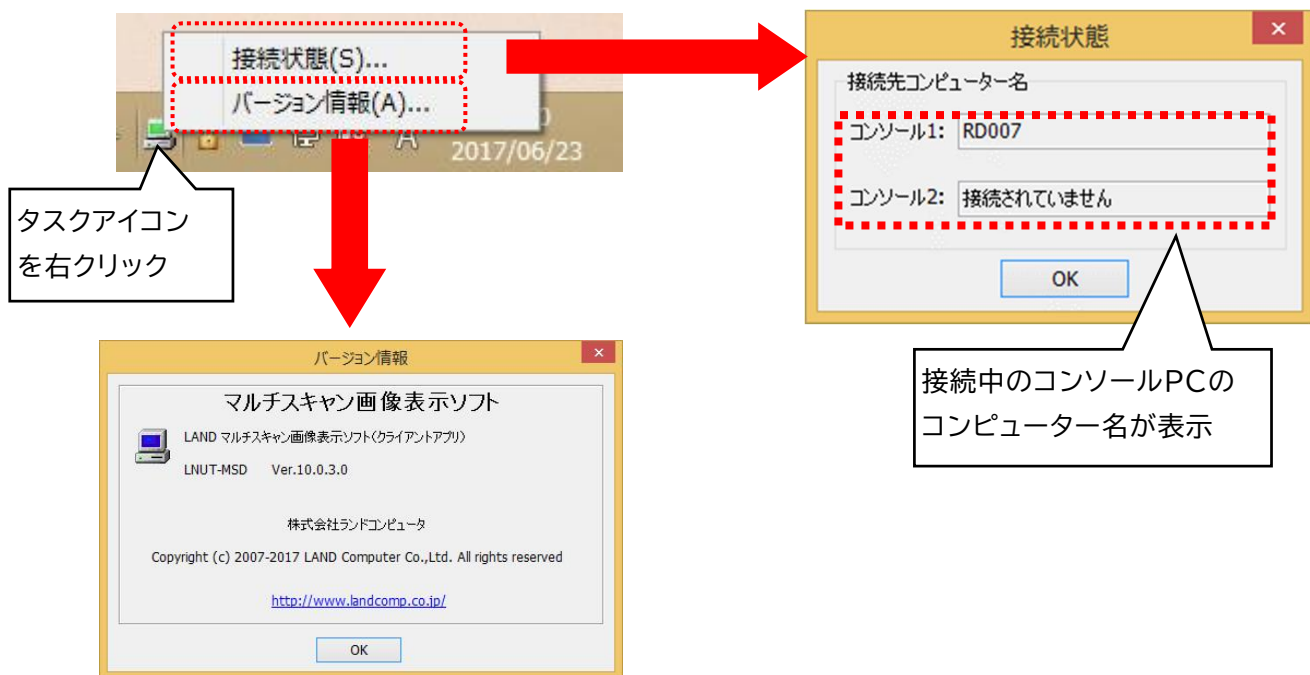
Attention

- ・クライアントを選択せずに電源管理ボタンをクリックすると、
クライアント全員に対して電源管理制御が実行されます。

1 コンソールソフトのバージョン情報の確認

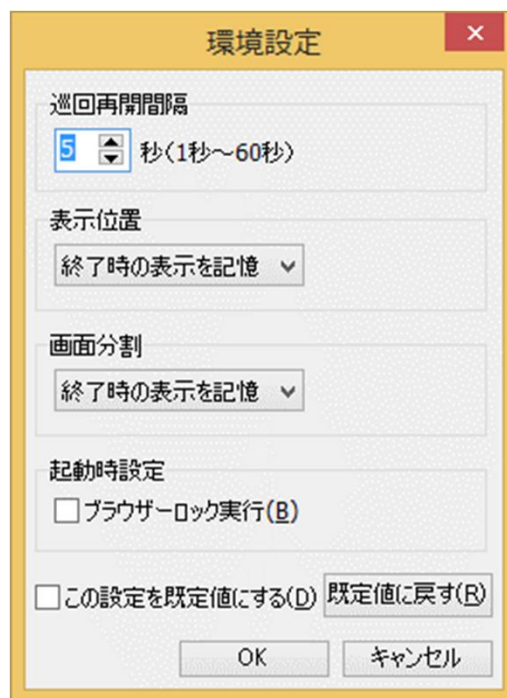
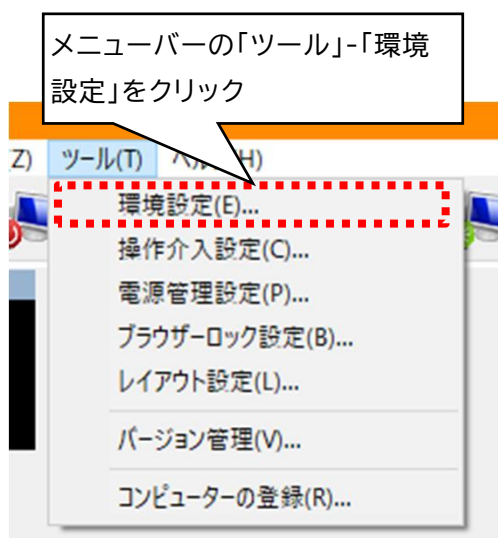


2 クライアントソフトの接続状態・バージョン情報の確認



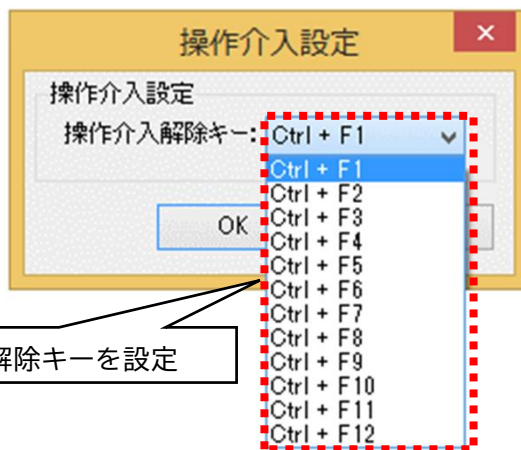
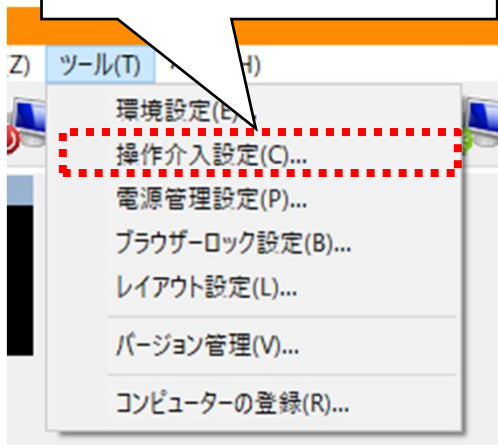
Attention

- クライアント画面が表示されない場合、接続先コンピューター名にコンソールのコンピューター名が表示されているか確認してください。

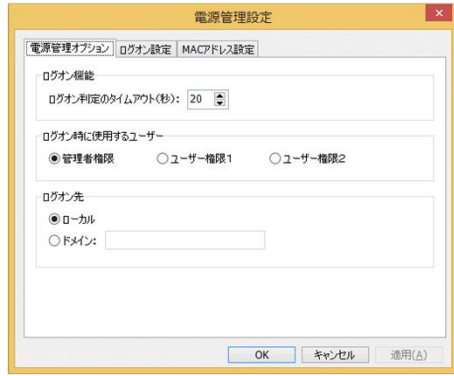
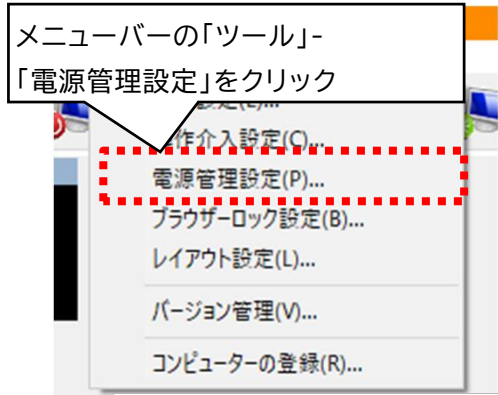


各種設定	各種設定の説明
巡回再開間隔	巡回再開間隔とは一旦全ての端末を巡回し、再度最初から巡回を始めるまでの間隔のことを表します。1～60秒を設定できます。 ネットワークやPCの状況によって切り替わる速度は多少異なります。
表示位置	マルチスキャンソフトの起動するモニターを「終了時の表示を記憶」「プライマリ」「セカンダリ」から選択します。
画面分割	「画面分割」の初期値を設定します。
起動時設定	起動時にブラウザロック制御を実行するか設定します。
この設定を既定値にする	設定内容はユーザーごとに保存されますが、「この設定を既定値にする」にチェックを入れると、設定未登録の全てのユーザー(新規にマルチスキャンを起動させるユーザー)に対して現在の設定内容が適応されます。
既定値に戻す	ユーザーごとに保存された設定データを破棄して既定の状態に戻します。

メニューバーの「ツール」-
「操作介入設定」をクリック



操作介入時の解除キーを設定



リモートサインインに失敗したと判断するまでの時間を設定

サインイン機能で使用するユーザーを設定

サインイン機能を実行した場合のサインイン先を設定

設定	説明
サインイン機能	コンソールソフトがリモートサインイン処理を実行してから、ここで指定した時間以内に対象のPCのサインイン処理が完了していない場合、リモートサインインに失敗したと判断します。お使いの環境でサインイン処理が完了するまでに必要な時間を目安にして設定してください。
サインイン時に使用するユーザー	「サインイン機能」を使用する場合に、予め登録している「管理者権限」「ユーザー権限1」「ユーザー権限2」のユーザーの中から使用するユーザーを設定します。ここで使用するユーザーの情報は、「サインイン設定」タブの「ユーザー名・パスワード」の設定画面でPC毎にユーザー名、パスワードを設定しておく必要があります。デフォルトでは「管理者権限」が選択されています。
サインイン先	「サインイン機能」を実行した場合のサインイン先を設定します。ドメインにサインインする場合は「ドメイン」を選択してドメイン名を入力して下さい。このサインイン先の設定は、サインインを実行する時に選択されているクライアントPCの全てに適用されます。デフォルトでは「ローカル」に設定されています。

Attention

- ・当ソフトではユーザープロファイル情報が取得できた場合、サインイン処理が完了していると判断します。
- ・パスワードを間違えるなどして、リモートサインインに失敗した場合、サインイン判定のタイムアウトで指定した時間の間は失敗と判断されないため、リモートサインイン機能ではサインインできません。
- ・サインイン時に使用するユーザーの設定は、サインインを実行する時に選択されている全クライアントPCに適用されます。例えば「ユーザー権限1」を選択した場合、「サインイン設定」タブの「ユーザー名・パスワード」の設定項目の「ユーザー権限1」タブの画面で各PCに設定されているユーザー名とパスワードを使用してサインインを試みます。

管理者権限	ユーザー権限1	ユーザー権限2
No. 001	コンピューター名 C01	ユーザー名 パスワード
002	RD-EP01	

「サインイン機能」を実行した場合に使用するユーザーに関する情報を「管理者権限」「ユーザー権限1」「ユーザー権限2」毎に、ユーザー名、パスワードを設定
※複数の教室の登録を行った場合の、教室毎に異なる内容の設定項目です。

全PCに共通のユーザー名や規則的なユーザー名、パスワードを登録する場合は「入力補助」ボタンを押して「ユーザー名・パスワードの入力補助画面」から入力すると、一括してユーザー名、パスワードの入力が行えます。

「入力補助」をクリック

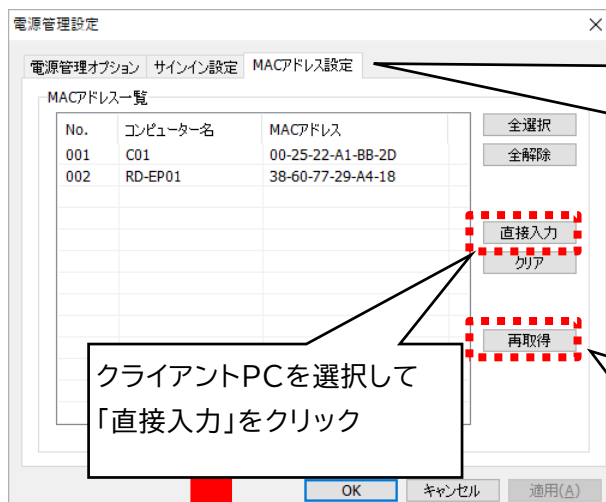
例.

登録されているクライアントPCが40台で、「CL001」から「CL040」までのユーザー名をクライアントNo.順に各PCに登録する場合

「任意の文字列+連番」を選択して、「CL」、「3桁」、「1からスタート」の条件にして「OK」ボタンを押して下さい。

Attention

- 通常パスワードの入力画面では入力文字をアスタリスク(*)で表示してパスワードが判らないようにしていますが、「サインイン設定」では登録の為に正しくパスワードを入力する必要があるため、入力した文字をそのまま表示しています。登録の際にはご注意ください。



遠隔起動に必要なクライアントPCのMACアドレスを取得します。

※複数の教室の登録を行った場合、教室毎に異なる内容の設定項目です。

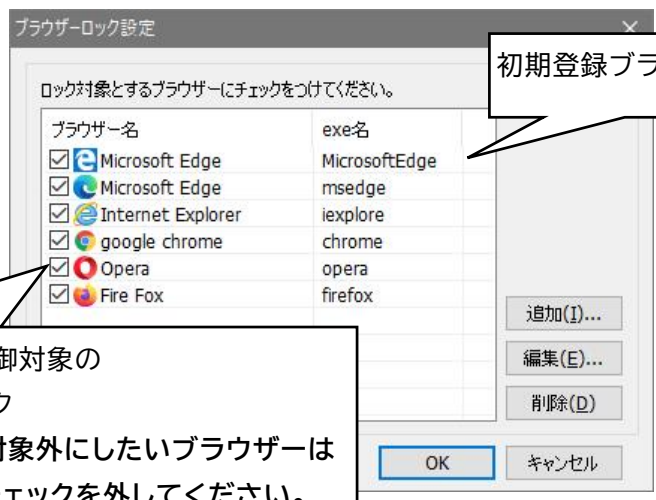
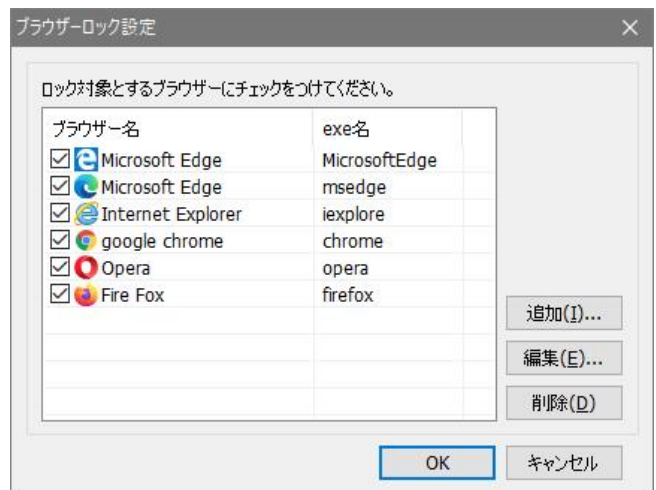
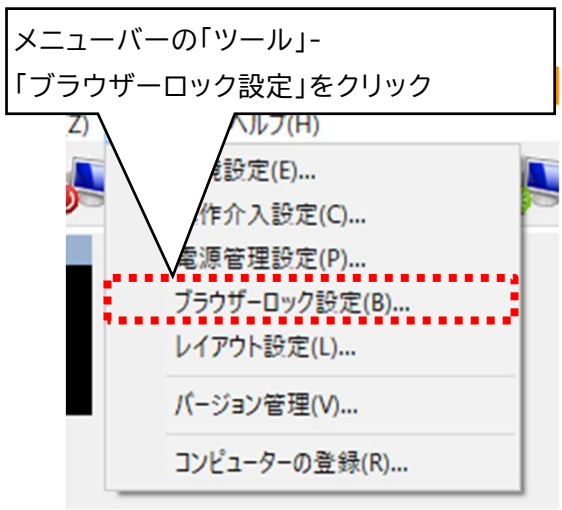
MACアドレスの再取得

- ①「全選択」ボタンをクリックして一覧のPCを選択状態にする。
- ②「再取得」ボタンをクリック
- ③取得できたら「OK」ボタンをクリック



Attention

- MACアドレス設定はすべてのクライアントPCがネットワークにサインインしている状態で行って下さい。
- MACアドレスは、初回設定時に自動的に取得されていますが、クライアントPCを入れ替えた場合や、クライアントPCのNIC(ネットワークインターフェースカード)を入れ替えた場合には、MACアドレスの再取得が必要になります。



初期登録ブラウザー

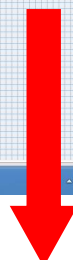
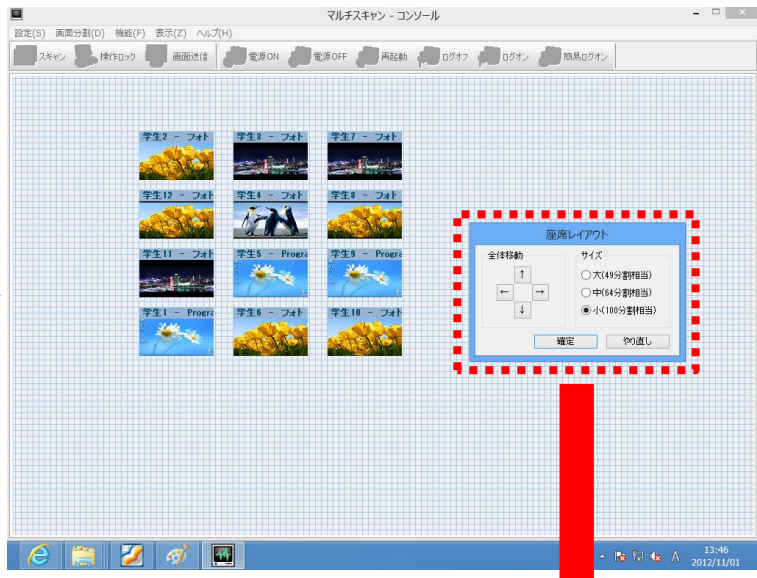
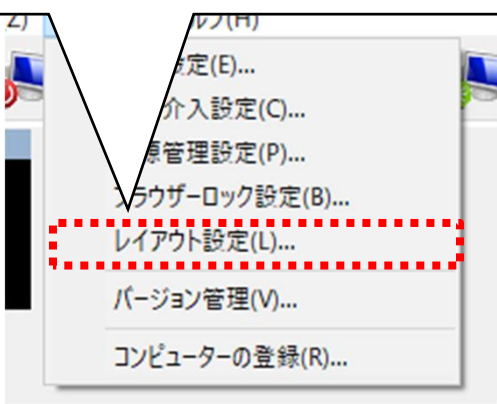
ブラウザーロック制御対象の
ブラウザーにチェック
※ブラウザ-ロック対象外にしたいブラウザーは
☑をクリックしてチェックを外してください。

Attention

- ・ 初期登録されているブラウザー以外は動作保証対象外となります。

5 設定(マルチスキャン) - レイアウト設定

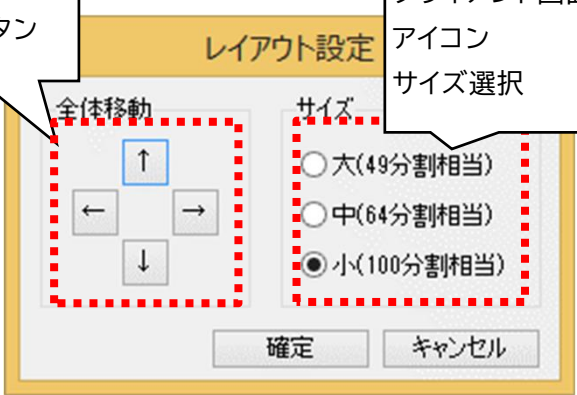
メニューバーの「ツール」-
「レイアウト設定」をクリック



Shiftキー+クリックで選択
※複数のクライアント画面アイコンを移動できます。



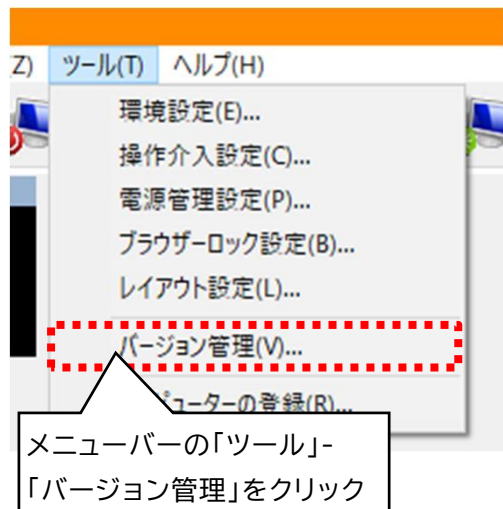
全体移動ボタン



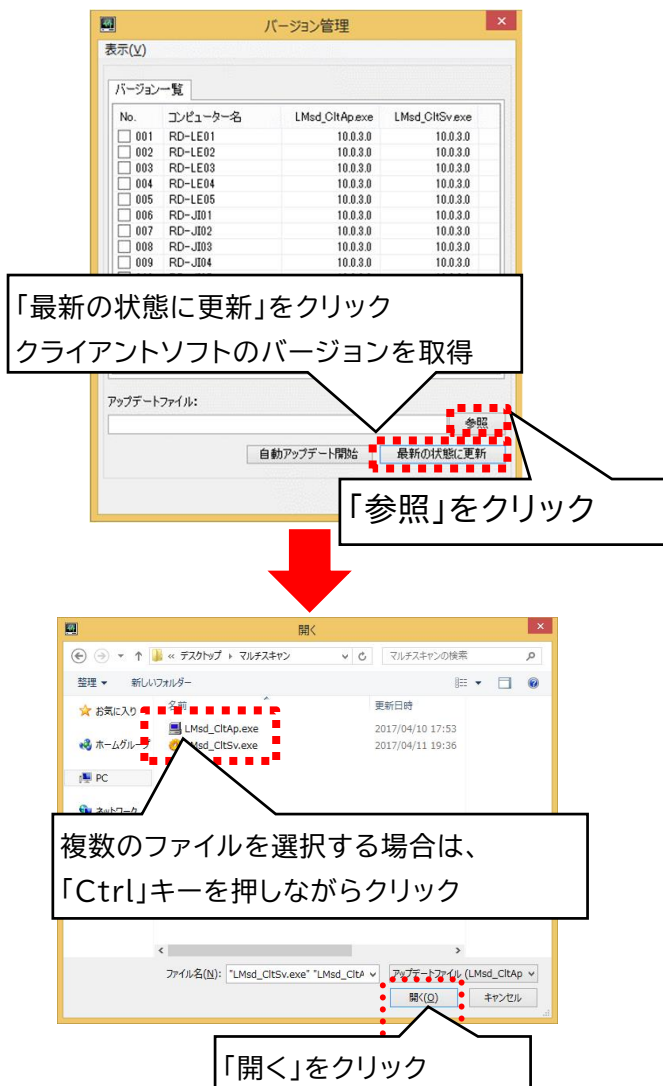
クライアント画面
アイコン
サイズ選択

動作	操作方法
クライアント画面アイコンの一括移動	全体移動ボタンを使用
クライアント画面アイコンの移動	クライアント画面アイコンをドラッグ
クライアント画面アイコンの複数移動	1.移動したいクライアント画面アイコンをShiftキーを押しながらクリック(選択状態) 2.クライアント画面アイコンをドラッグすると選択状態のクライアント画面アイコンが移動

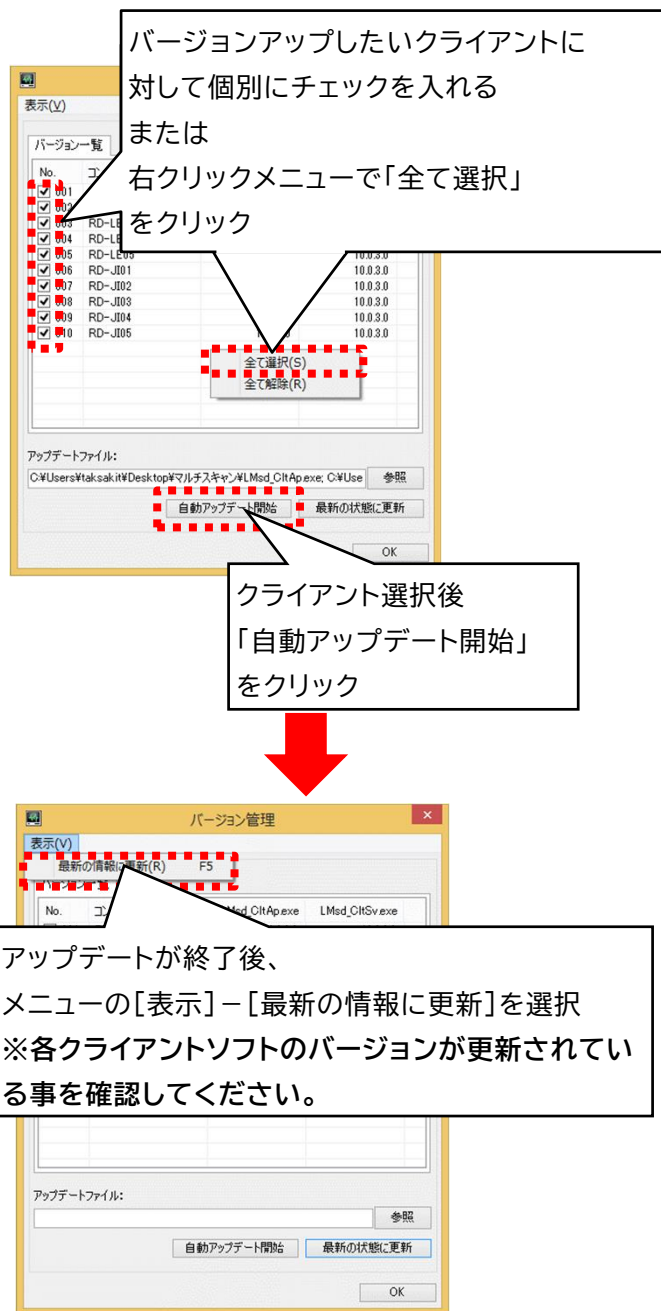
1 バージョン管理を開く



2 アップデートファイルの準備



3 アップデートの開始



Attention

- 両方のファイルをアップデートする場合、必ず両方選択した状態で「開く」をクリックし、同時にアップデートを行なってください。1つずつ実行しようとするとうアップデートできなくなる可能性があります。

概要

教室のクライアントPCの数に増減や、コンピューター名が変更になった場合などで、設定をやり直す場合にコンピュータの登録を行います。

メニューバーの「ツール」-「コンピュータの登録」をクリック

設定については、「[3 初回起動時の設定\(マルチスキャン\)](#)」の「コンピュータのクライアントNo.の設定」を参照してください。

コンピュータの登録

コンピュータ クライアントNo.の設定

コンピュータ名	IPアドレス	No.	取得(G)
<input checked="" type="checkbox"/> PC01		001	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> PC02		002	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> PC03		003	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> PC04		004	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> PC05		005	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> PC06		006	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> PC07		007	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> PC08		008	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> PC09		009	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> PC10		010	<input type="checkbox"/>

取得(G) 全選択(S) リセット(R)

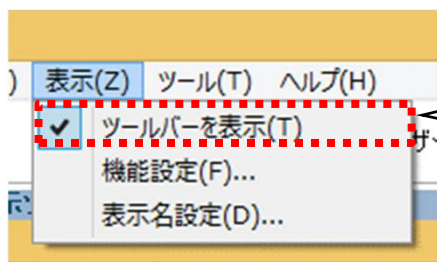
追加(A)... 削除(D) 全削除(E)

完了 キャンセル

コンピュータクライアントNo.の設定を行います。
 ・取得を実行し、コンピュータを取得してください。
 ・クライアントNo.欄にコンピュータにチェックを入れてください。

Attention

- 現在の設定内容は破棄されずに追加・削除を行えます。
- 設定完了後追加したPCに対してレイアウト設定・電源管理の設定を行ってください。
- 設定については「[3 初回起動時の設定\(マルチスキャン\)](#)」を参照して設定を行ってください。



メニューバーの「表示」-
「ツールバーを表示」をクリック
で表示・非表示を切替

「ツールバーを表示」にチェックありの場合
ツールバー表示

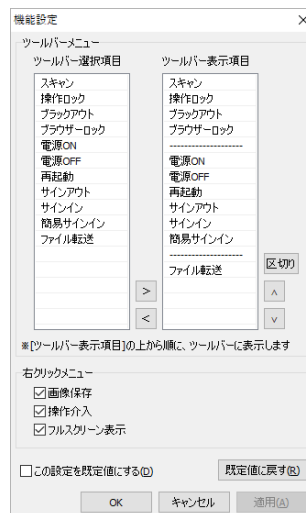
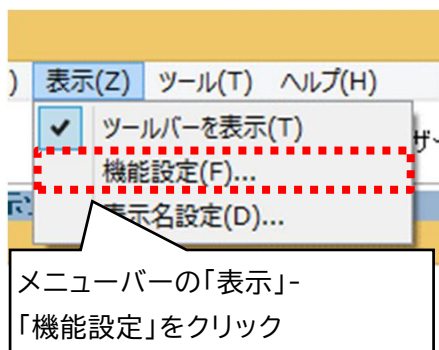


「ツールバーを表示」にチェックなしの場合
ツールバー非表示



Attention

- 設定情報のうち、全ユーザーに共通の内容は、「C:\ProgramData\LAND\LNUT-MSD\Console」以下に保存されます。また各ユーザーに関する設定情報は、「C:\Users\ユーザー名\AppData\Local\LAND\LNUT-MSD\Console」以下に保存されます。
- AppDataフォルダは隠しフォルダ形式になっております。コントロールパネルの『フォルダオプション』から隠しフォルダ表示設定にしてください。

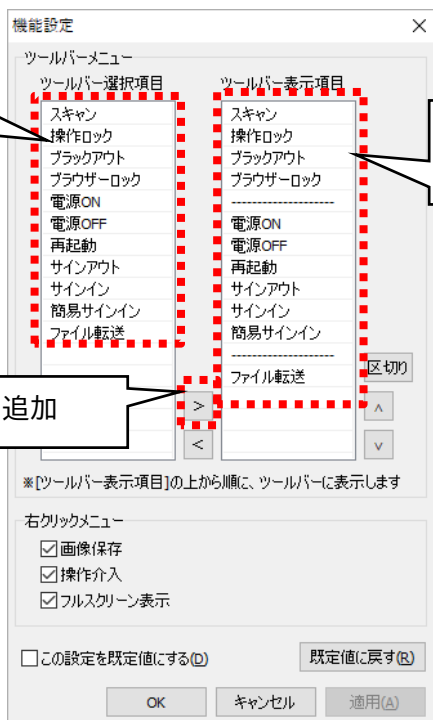


機能を表示する

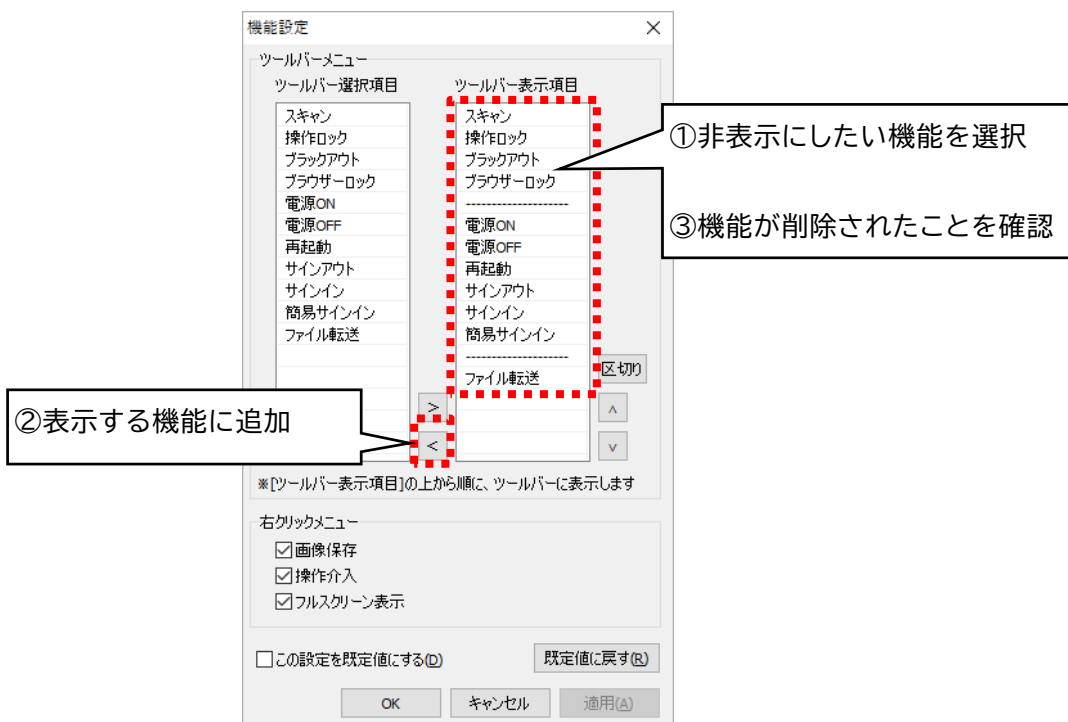
①表示したい機能を追加

②表示する機能に追加

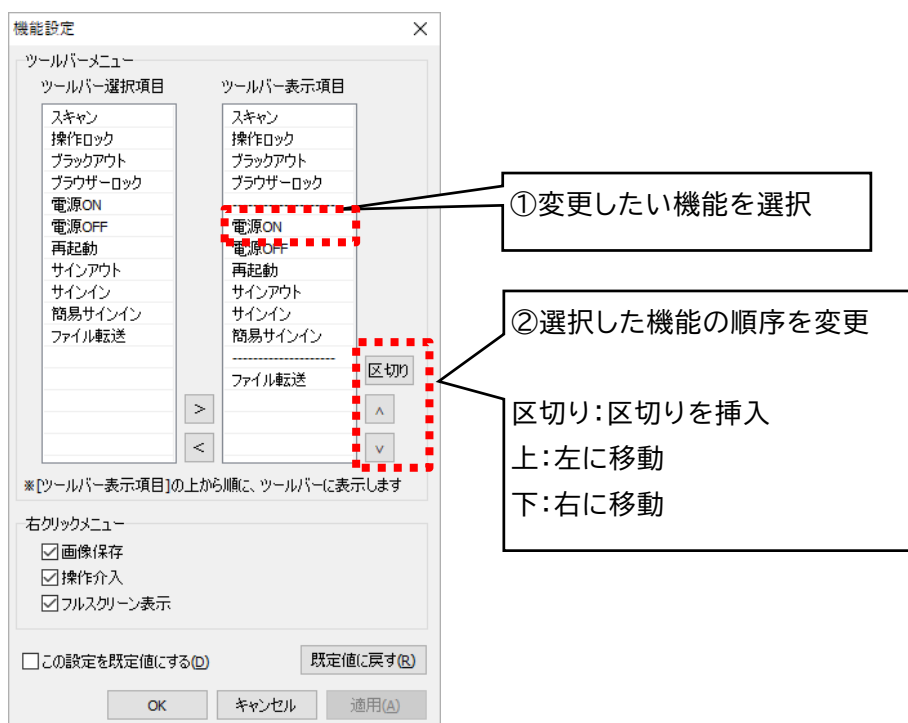
③追加した機能があることを確認



機能を非表示にする

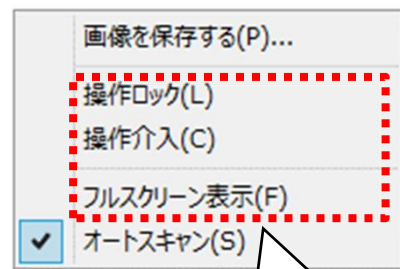
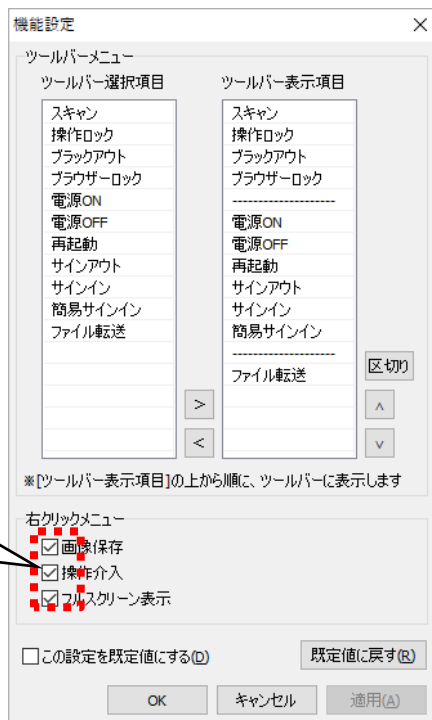


表示順序の変更



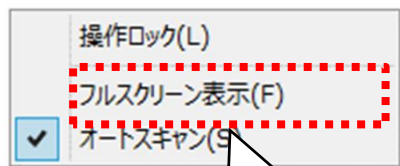
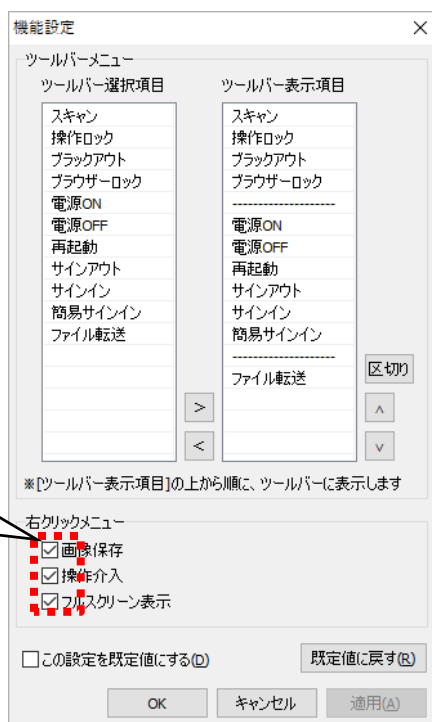
右クリックメニューの機能表示・非表示

右クリックメニューに
表示する機能をチェック



右クリックメニューに
機能が表示

非表示にする機能のチェック
を外す

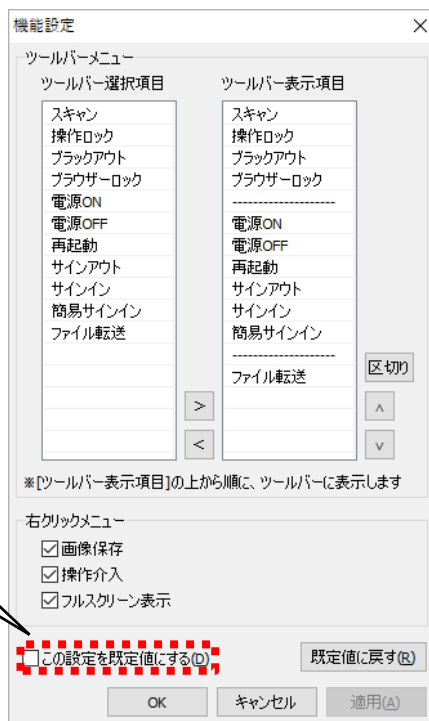


機能設定でチェックを
外した機能が非表示

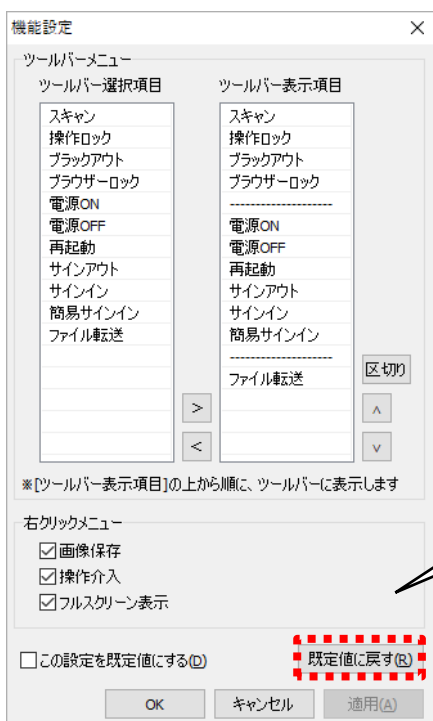
この設定を既定値にする

「この設定を既定値にする」に
チェックを入れる

設定未登録の全てのユーザー(新規にマルチスキャン
を起動させるユーザー)に対して現在の設定内容が適
応されます。



設定値に戻す

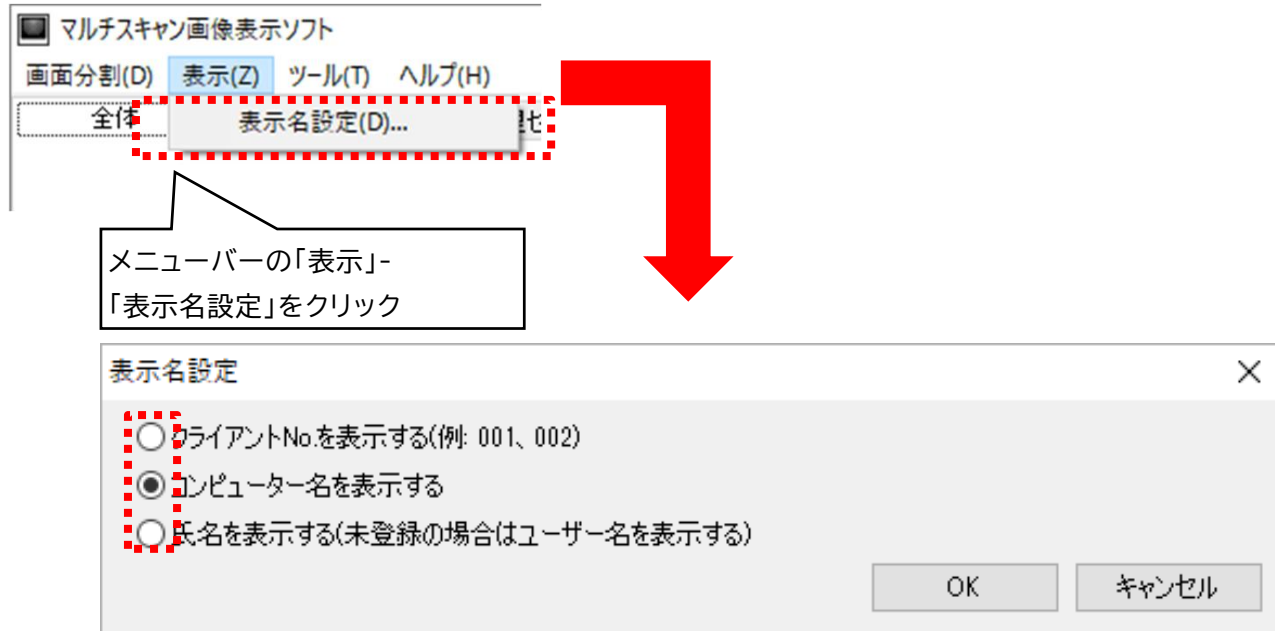


「既定値に戻す」をクリック

ユーザーごとに保存された設定データを破棄して既
定の状態に戻します。

表示名設定

マルチスキャンコンソールソフトの画面



設定内容	説明
クライアントNo.を表示する	「コンピューター・クライアントNo. の設定」で登録した番号を受信画面のタイトルに表示します。
コンピューター名を表示する	コンピューター名を受信画面のタイトルに表示します。
氏名を表示する	フルネームを受信画面のタイトルに表示します。 ドメイン環境でディレクトリーサービス(ActiveDirectory、OpenLDAP等)をお使いの際は、表示させたい氏名を、ユーザープロファイル情報の「フルネーム」に紐づけられるフィールドに入力してください。 ワークグループ環境でお使いの場合は、コントロールパネル[ユーザーアカウント]の[ユーザーアカウントの管理]から対象ユーザーのプロパティを表示し、「フルネーム」欄に表示させたい氏名を入力してください。

Attention

- ActiveDirectoryの場合、表示名(Displayname)フィールドが「フルネーム」に紐づけられます。
- 「ユーザーアカウントの管理」はOSのエディションによってはGUI上からは確認・操作することができません。
- 65バイト以上の表示名は表示できません。
- フルネームを登録していない場合はユーザー名が表示されます。

概要

マルチスキャン画像表示ソフトの動作設定やクライアントに関する情報などが書かれた設定ファイルは以下のパスに保存されます。

設定情報	パス
全ユーザー共通 の設定情報	C:¥ProgramData¥LAND¥LNUT-MSD¥Console
各ユーザーに関する 設定情報	C:¥Users¥”ユーザー名”¥AppData¥Local¥LAND¥LNUT-MSD¥Console

Attention

- フォルダ及びフォルダ内のデータを削除や移動すると正しく動作しません。取扱いには十分注意してください。
- Appdataフォルダは隠しフォルダ形式になっております。コントロールパネルの『フォルダオプション』から隠しフォルダ表示設定にしてください。

ファイル転送アプリのセットアップ手順

1. ファイル転送アプリ コンソールのインストール
2. ファイル転送アプリ クライアントのインストール
3. コンソールソフトの初回起動時の設定

動作環境

セットアップ前に以下の動作環境であるかご確認ください。

OS:

- ・Windows 10 64ビット / Windows 11

コンピューター:

- ・Wake On LANに対応していること
- ・コンソールPCおよびクライアントPCのグラフィックボードのビデオメモリは256MB以上を推奨

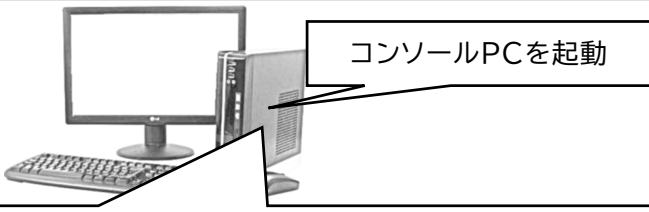
ネットワーク:

- ・TCP/IP、UDP が正常に動作する環境

Attention

- ・セットアップにはCD-ROMドライブが必要です。
- ・Windowsの機能「コンピューターのロック」状態のクライアントPCに対して制御を行うことはできません。
- ・コントロールパネルのディスプレイの設定で、サイズは推奨値または規定値で運用してください。それ以外の値では正常に表示されない機能があります。
- ・本システムはWindowsのユーザー切り替え機能には対応しておりません。別のユーザーで使用する場合は必ず、現在のユーザーをサインアウトしてから別のアカウントでサインインして下さい。

1 セットアップの準備



コンソールPCを起動

Administrator又は、同等の権限のユーザーアカウントでサインイン

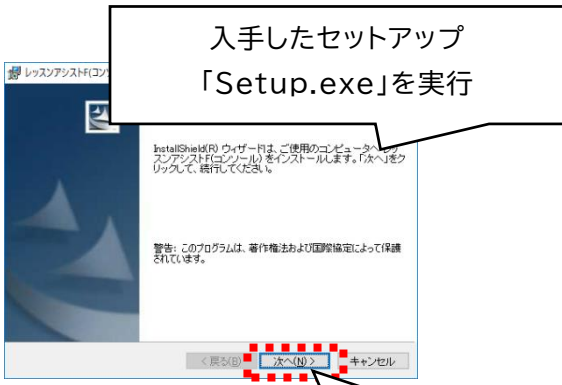
※実行中のアプリケーションはすべて閉じてください

ファイル転送アプリのセットアップは、CDの以下の階層に保存されています。

CD¥PATF Vxxx¥

※「xxx」にはバージョンナンバーが入ります。

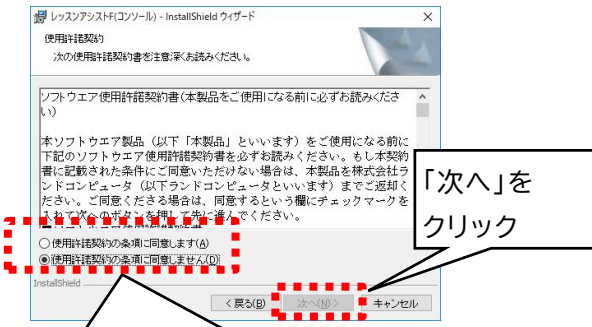
2 セットアッププログラムの実行



入手したセットアップ「Setup.exe」を実行

「次へ」をクリック

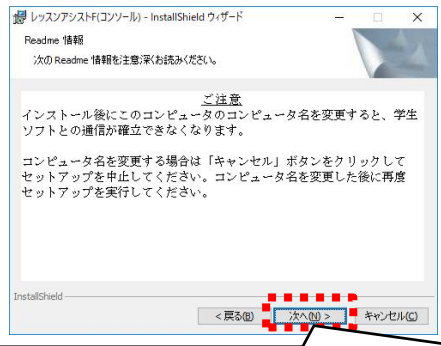
3 使用許諾契約への同意



「次へ」をクリック

使用許諾契約の内容を確認し、契約の同意の有無を選択

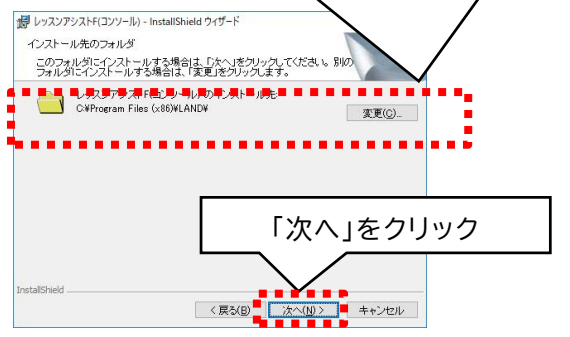
4 Readme 情報の確認



Readme情報を読んで、「次へ」をクリック

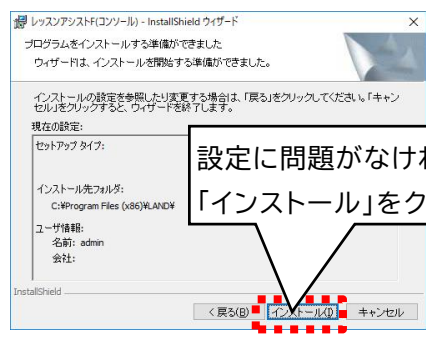
5 セットアップ先フォルダの指定

デフォルトインストール先
C:¥Program Files (x86)¥LAND¥
※必要に応じてインストール先を変更してください。



「次へ」をクリック

6 インストール開始



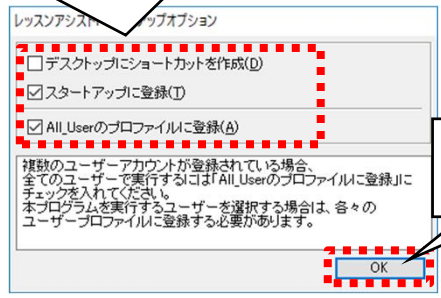
設定に問題がなければ「インストール」をクリック

※設定をやり直す場合は、「戻る」「キャンセル」ボタンで設定をやり直してください。

InstallShield ウィザードを完了しましたという画面が表示されたら「完了」ボタンを押します。

7 セットアップオプションの設定

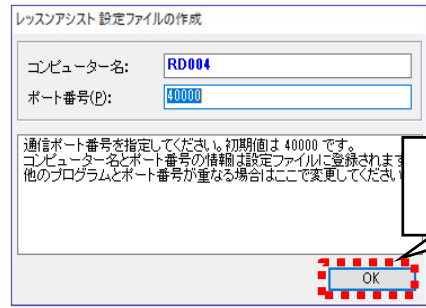
必要に応じてチェックしてください。



「OK」をクリック

8 設定ファイルの作成

※単独運用時の画面



「OK」をクリック

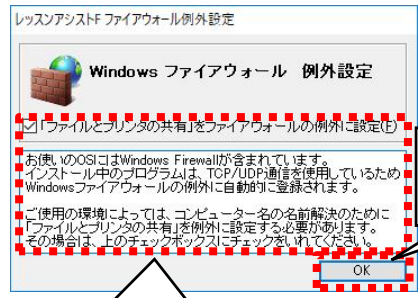
分離統合環境(有償オプション)でご使用の場合だけ、上記の画面ではなく当表示になります。「隣コンソールPC名」に隣コンソールコンピューター名を入力します。



「OK」をクリック

※他のソフトウェアと競合する場合などには、ポート番号をご変更ください。ポート番号は全クライアントのポート番号と同一にする必要があります。

9 ファイアウォールの設定

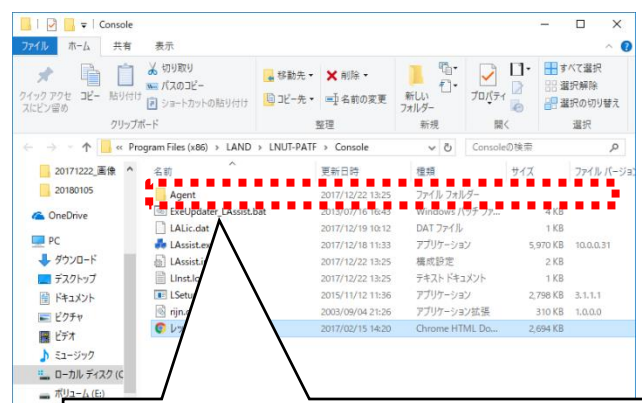


「OK」をクリック

メッセージに従って設定してください。

※一度インストールした環境の場合、この画面は表示されません。

10 クライアントソフト セットアッププログラムの確認



インストールフォルダ直下の
¥LNUT-PATF¥Console 内に、
Agentセットアップ用ファイルの
「Agent」フォルダがあることを確認
※Agentフォルダ内にクライアントソフトの
セットアップが保存されています。

1 セットアップの準備



コンソールPC/クライアントPCを起動

Administrator又は、同等の権限のユーザーアカウントでサインイン

※実行中のアプリケーションはすべて閉じてください

ファイル転送アプリのクライアントソフトのセットアップは、「Agent」フォルダ内にあります。

※ クライアントソフトは、コンソールPCにもインストールしていただく必要があります。

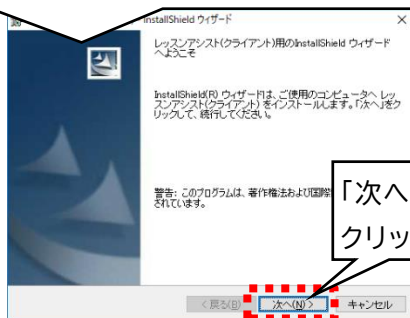
※ファイル転送アプリのコンソールソフトをデフォルトの設定でインストールすると以下の階層にクライアントソフトのセットアップがあります。

C:\Program Files (x86)\LAND\LNU-T-PATF\Console

※無い場合は、「2 セットアップ - ファイル転送アプリ コンソールソフトのインストール」の「5 セットアップ先フォルダの指定」で設定した場所をご確認ください。

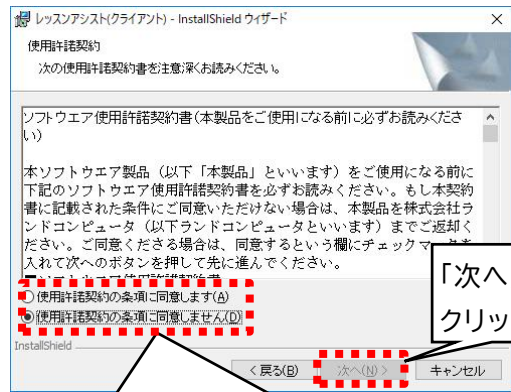
2 セットアッププログラムの実行

共有にしたコンソールPCの「Agent」フォルダ、もしくはサーバーにコピーした「Agent」フォルダ内の「Setup.exe」を実行



「次へ」をクリック

3 使用許諾契約への同意



「次へ」をクリック

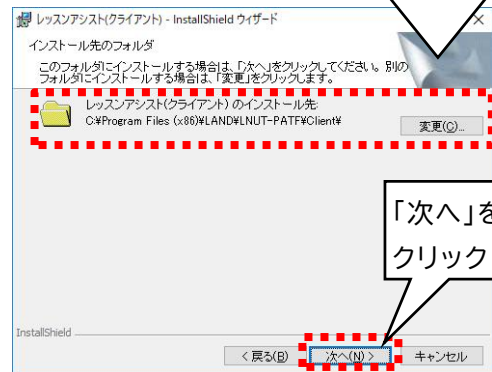
使用許諾契約の内容を確認し、契約の同意の有無を選択

4 セットアップ先フォルダの指定

デフォルトインストール先

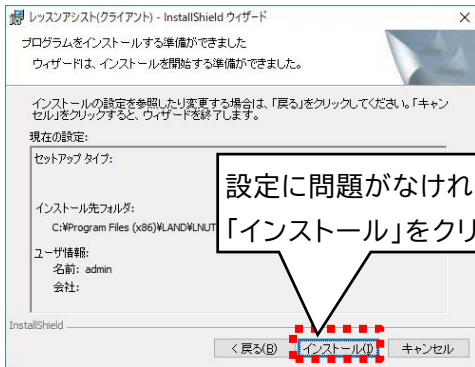
C:\Program Files (x86)\LAND\LNU-T-PATF\Clinet

※必要に応じてインストール先を変更してください。



「次へ」をクリック

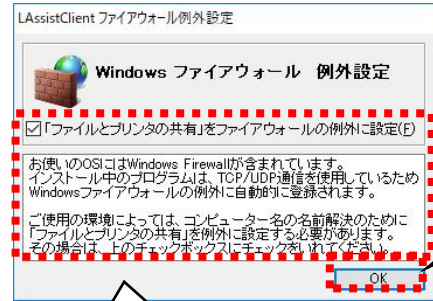
5 インストール開始



設定に問題がなければ
「インストール」をクリック

※設定をやり直す場合は、「戻る」「キャンセル」ボタンで設定をやり直してください。

7 ファイアウォールの設定

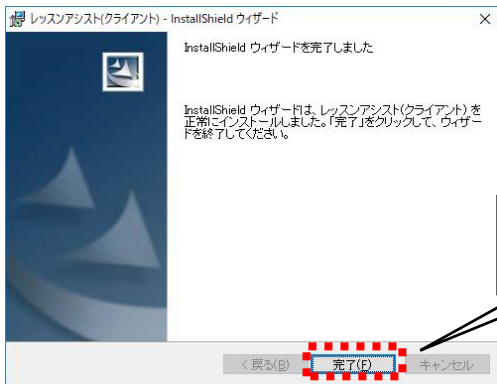


「OK」をクリック

メッセージに従って設定してください。

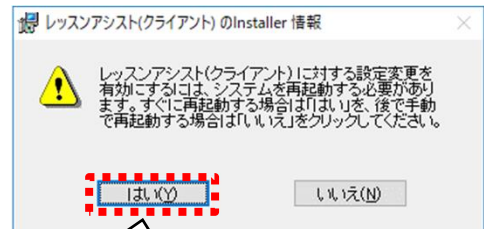
※一度インストールした環境の場合、この画面は表示されません。

6 インストール完了



「完了」をクリック

8 クライアントPCの再起動



クライアントPCの再起動を行ってください。

1 初回起動時画面



デスクトップのショートカットアイコンを実行、または、
C:¥Program Files (x86)¥LAND¥ LNUT-
PATF¥Console
にある『 LAssist.exe 』を実行。

※ショートカットは、インストール時のデフォルト
の設定では、生成されませんのでご注意ください。



「OK」をクリック

2 コンピューターの登録

「取得」をクリック

コンピューターの登録

コンピューター名	No.	取得
<input checked="" type="checkbox"/> C01	000	006 / 006
<input checked="" type="checkbox"/> RD003	001	
<input checked="" type="checkbox"/> RD007	002	
<input checked="" type="checkbox"/> RD-FU03	003	
<input checked="" type="checkbox"/> RD-JI04	004	
<input checked="" type="checkbox"/> SL202	005	

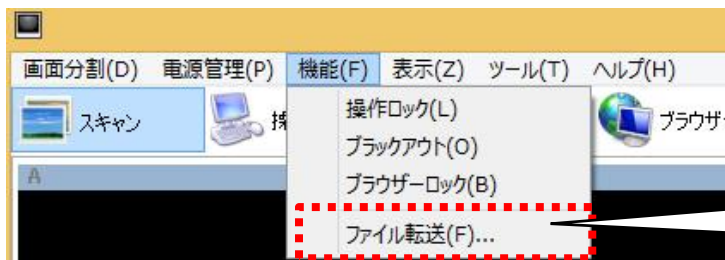
全選択
リセット
追加
削除

※先生パソコンは000番を指定してください。
※隣教室の先頭学生: 000 番

「OK」をクリック

登録したいコンピューター名のチェックボックスをクリック
※コンソールPCは000番を指定してください。
※クリックした順番にクライアントNo.が登録されます。
※エクスプローラーのネットワークに表示されるコンピューター名が「取得」クリックで表示されます。
1回で全コンピューター名が取得されない場合は、再度「取得」をクリックしてください。

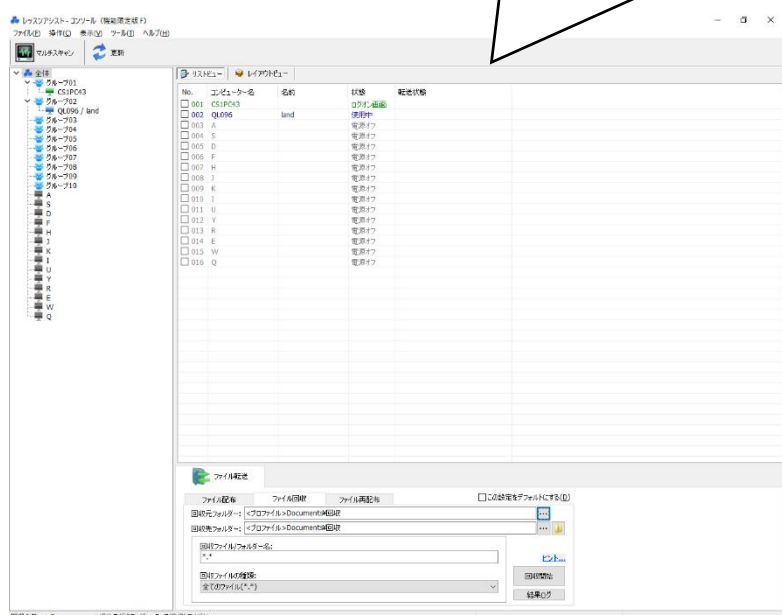
8 基本操作(ファイル転送) - ファイル転送アプリの呼び出し



マルチスキャンコンソールソフトの「ツールバー」の「ファイル転送」またはメニューバーの「機能」-「ファイル転送」をクリック



ファイル転送機能(レッスンアシスト機能限定版F)を呼び出し



クライアント(コンソール端末内のクライアント)ソフトは、Windowsが起動すると自動的に起動

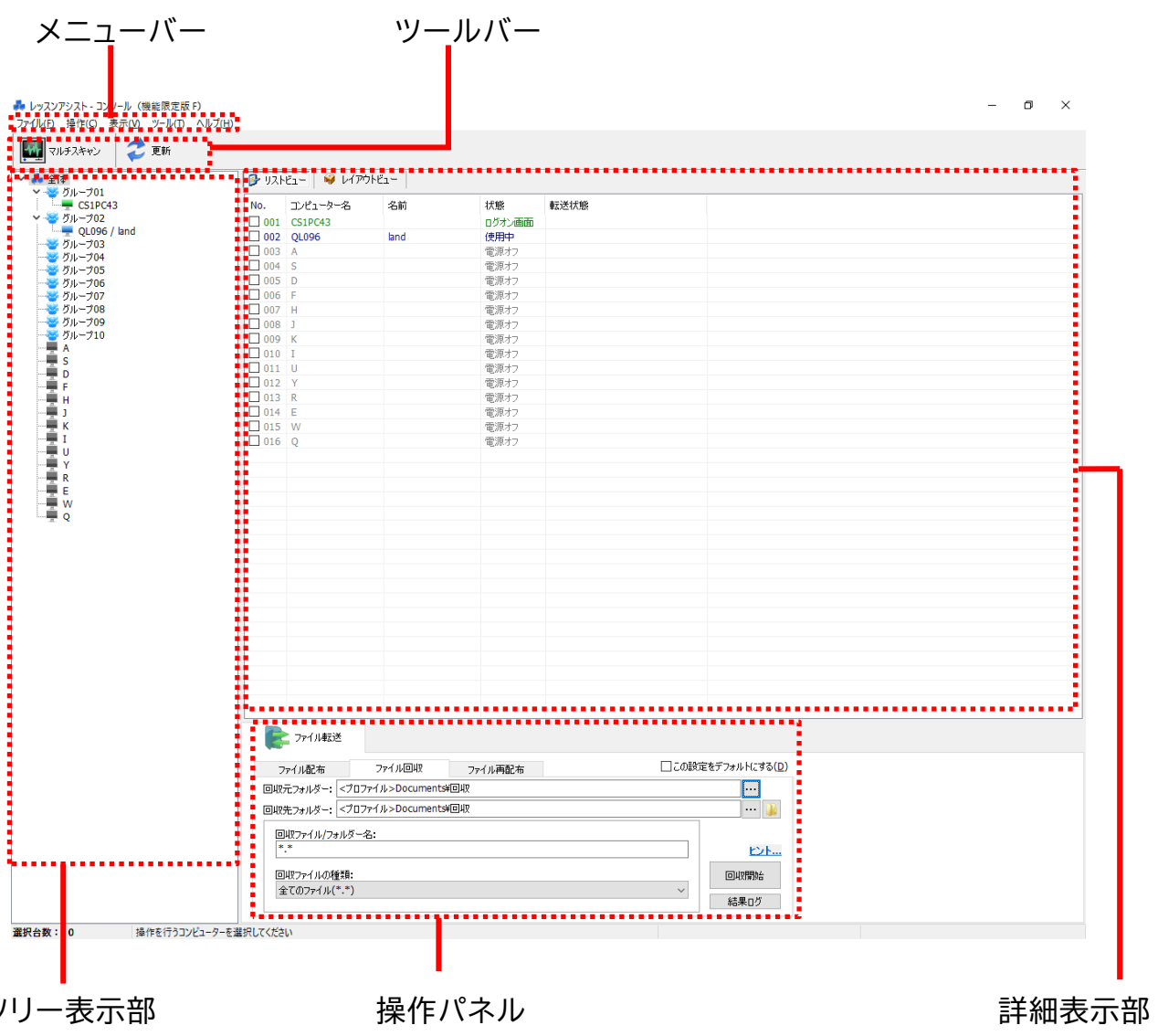


コンソールPCとの接続が確立

Attention

- ファイル転送機能を使用する場合は、レッスンアシスト機能限定版Fのインストールを必要があります。
- ファイル転送機能の使用法、設定方法については、「8 基本操作(ファイル転送)」をご参照ください。
- クライアント(コンソール)ソフトは、Windowsの終了時に自動的に終了します。
- Ver11以前のマルチスキャンソフトをご利用されていた場合、『ファイル転送』アイコンが表示されないことがあります。以下のファイルを削除してコンソールソフトを再起動してください。

C:\ProgramData\LAND\LNUT-MSD\Console内の『Function.ini』
C:\Users\ユーザー名\AppData\Local\LAND\LNUT-MSD\Console内の『Function_UserSettings.ini』



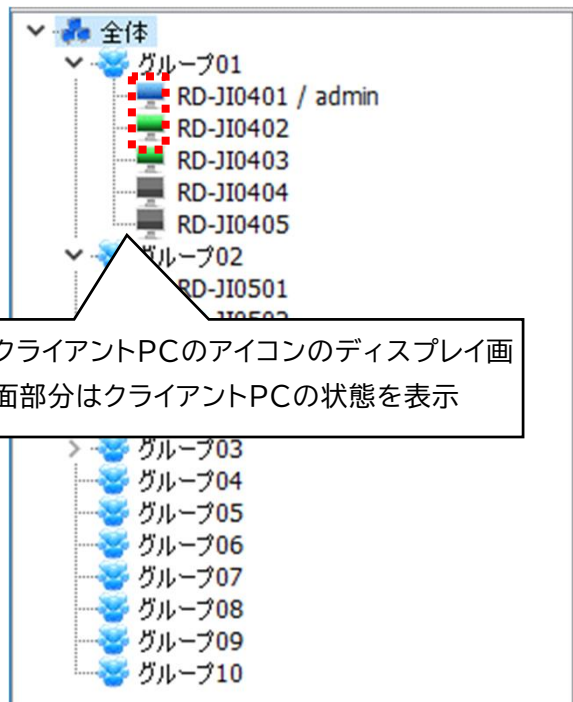
メニューバー	設定画面を呼び出すメニューバーです。
ツールバー	マルチスキャン画像表示ソフトの呼び出しや情報の更新ができます。
ツリー表示部	登録されているコンピューター名およびグループ名が表示されます。
詳細表示部	ツリー表示部で選択されているPCの詳細が表示されます。表示形式はリストビューとレイアウトビューを切替えて表示することができます。
操作パネル	ファイル転送ボタンが配置されています。ファイルの配布、回収、再配布はタブで画面を切替えます。


 レッスンアシスト - コンソール (機能限定版 F)

ファイル(F) 操作(C) 表示(M) ツール(T) ヘルプ(H)

ファイル	「ファイル」-「終了」でレッスンアシスト機能限定版 Fを終了することができます。
操作	マルチスキャン画像表示ソフトを呼び出すことができます。
表示	ツリー表示部や詳細表示部の表示の設定ができます。 ・表示変更 :表示を以下の4点から選択します。 コンピューター名/ユーザー名/フルネーム/登録文字列から選択 ・詳細表示変更 :詳細表示部の表示をリストビュー/レイアウトビューから選択 ・最新の情報に更新する:情報を最新の状態に更新
ツール	以下の設定や管理ができます。 ・環境設定 :基本設定やファイル転送設定 ・コンピューターの登録:管理対象となるクライアントPCを登録・変更 ・レイアウト設定:詳細表示部のレイアウトビューで表示されるアイコンのレイアウトの設定 ・クライアント氏名の登録: クライアントPCにサインインしているユーザー名表示の代わりに、文字列を登録 ・バージョン管理:クライアント(コンソール)ソフトのバージョンを取得、表示、 クライアント(コンソール)ソフトを一斉にUPDATEができます。
ヘルプ	製品PDFマニュアル、バージョン情報の確認ができます。

ツリー表示部



クライアントPCのアイコンのディスプレイ画面部分はクライアントPCの状態を表示

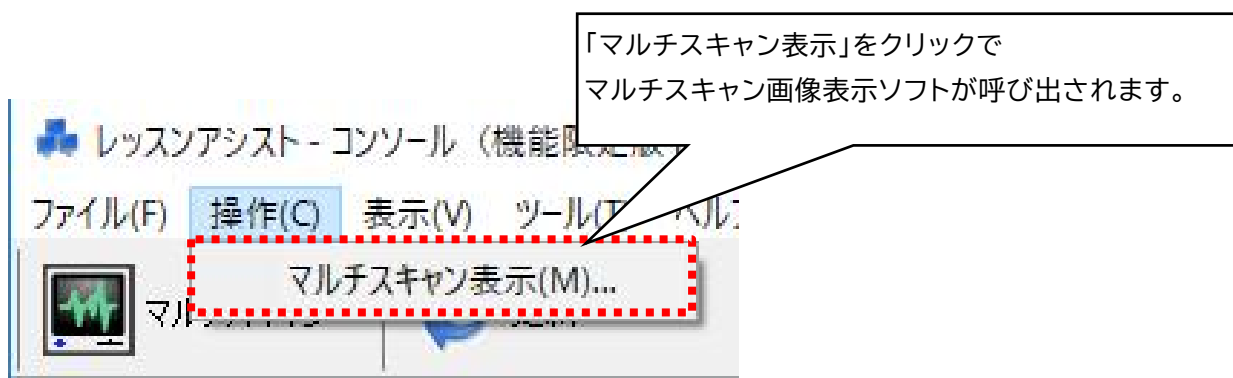
詳細表示部



クライアントPCの状態	ツリー表示部 アイコンの色	詳細表示部 文字の色
使用中	青色 	RD-JI0401
サインイン画面	緑色 	RD-JI0402
電源OFF	灰色 	RD-JI0405

Attention

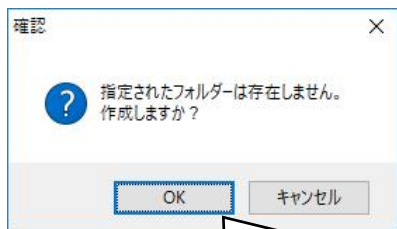
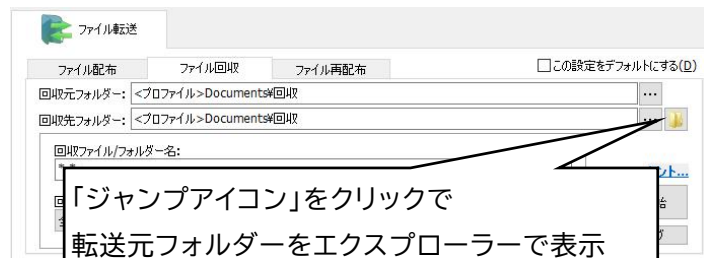
- グループの登録方法は「[9 設定\(ファイル転送\) - ファイル転送機能グループの登録](#)」をご参照ください。
- 使用中のクライアントPCのユーザー名の表示等は、「[9 設定\(ファイル転送\) - ファイル転送機能グループの登録](#)」をご参照ください。



Attention

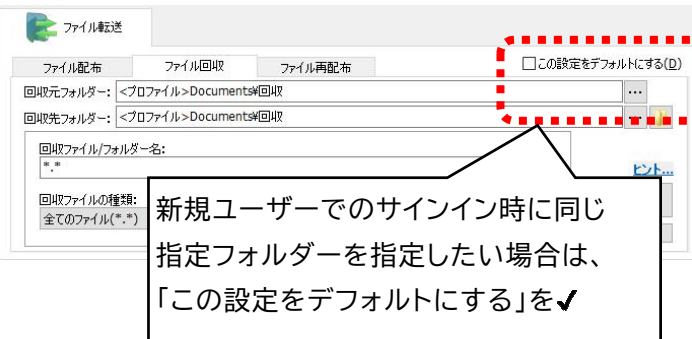
- マルチスキャン画像表示ソフトの使用方法については、「[4 基本操作\(マルチスキャン\)](#)」をご参照ください。

ジャンプアイコンの使用



ファイルが存在しない場合、
フォルダーを作成する確認ダイアログが表示

この設定をデフォルトにする



Attention

- 「この設定をデフォルトにする」は、配布・回収フォルダーのデフォルト値設定と同一ではありませんので御注意ください。
- 配布・回収フォルダーのデフォルト値設定は、「[9 設定\(ファイル転送\) - 配布・回収フォルダーのデフォルト値設定](#)」をご参照ください。

1 ファイル配布対象者の選択

①ツリー表示部で「全体」を選択
 ※全員対象だけではなく、グループ、クライアントPCを選択することでグループ単位、個別単位での配布が出来ます。

No.	コンピューター名	名前	状態	転送状態
<input type="checkbox"/>	001	RD-JI0401		
<input type="checkbox"/>	002	RD-JI0402		
<input type="checkbox"/>	003	RD-JI0403		
<input type="checkbox"/>	004	RD-JI0404		
<input type="checkbox"/>	005	RD-JI0405		
<input type="checkbox"/>	006	RD-JI0501	電源オフ	
<input type="checkbox"/>	007	RD-JI0502	電源オフ	
<input type="checkbox"/>	008	RD-JI0503	電源オフ	
<input type="checkbox"/>	009	RD-JI0504	電源オフ	
<input type="checkbox"/>	010	RD-JI0505	電源オフ	
<input type="checkbox"/>	011	RD-JI0506	電源オフ	

②詳細表示部を右クリック
 「選択」-「全て選択」を選択

③クライアントPCのチェックボックスに✓マークが入る

Attention

- Ctrlキーを押しながらグループ及びクライアントPCを選択すると、複数のグループ、クライアントPCが選択できます。

2 ファイル転送機能の選択

「ファイル配布」を選択

3 配布対象ファイルの選択

②送信したいファイルを選択

①「リストを更新する」をクリック
 ファイルの一覧を更新

Attention

- ファイルだけではなく、フォルダーの配布も可能です。
- ファイルのリスト表示を右クリックすると『全て選択』『全て解除』を選択することが出来ます。

4 配布元、配布先の選択

配布元、配布先フォルダーの選択

「プロファイル」「フルパスで指定」から選択

フォルダパスを手入力

フォルダーの参照

5 配布の開始

① 配布後に実行したい場合は、「配布後実行」を選択

② 「配布開始」をクリック

名前	サイズ	種類	更新日時
<input type="checkbox"/> test.txt	1KB	テキストドキュ...	2017/06/19 15:27
<input checked="" type="checkbox"/> 授業メモ.txt	1KB	テキストドキュ...	2017/12/22 13:36
<input checked="" type="checkbox"/> 授業資料		ファイルフォルダー	2017/12/22 13:36
<input type="checkbox"/> 歴史資料.bmp	470KB	BMP ファイル	2017/12/22 13:37
<input type="checkbox"/> 連絡事項.txt	3KB	テキストドキュ...	2017/12/22 13:37

Attention

・ 配布後実行では、関連付けられたソフトを配布後に実行いたします。

6 配布結果の確認

転送の経過や結果が「転送状態」の項目に表示

No.	コンピューター名	名前	状態	転送状態
<input checked="" type="checkbox"/> 001	RD-JI0401	admin	使用中	
<input checked="" type="checkbox"/> 002	RD-JI0402	test	使用中	全て成功しました
<input checked="" type="checkbox"/> 003	RD-JI0403	Administrator	使用中	全て成功しました
<input type="checkbox"/> 004	RD-JI0404			
<input type="checkbox"/> 005	RD-JI0405			
<input type="checkbox"/> 006	RD-JI0501			
<input type="checkbox"/> 007	RD-JI0502			
<input type="checkbox"/> 008	RD-JI0503			
<input type="checkbox"/> 009	RD-JI0504			
<input type="checkbox"/> 010	RD-JI0505			
<input type="checkbox"/> 011	RD-JI0601			

7 配布の結果ログを表示

「結果ログ」をクリック

クライアントPC毎、配布ファイル毎に結果が表示

ログを保存する場合は、「ログを保存」をクリック

※CSV形式でログは保存されます。

No.	コンピューター名	ログユーザー名	配布パス	ファイル名	時刻	結果
002	RD-JI0402	test	C:\Users\test\Documents\配布...	test.txt	13:45:29	成功
002	RD-JI0402	test	C:\Users\test\Documents\配布...	授業メモ.txt	13:45:30	成功
002	RD-JI0402	test	C:\Users\test\Documents\配布...	授業資料	13:45:30	成功
002	RD-JI0402	test	C:\Users\test\Documents\配布...	歴史資料.bmp	13:45:30	成功
002	RD-JI0402	test	C:\Users\test\Documents\配布...	連絡事項.txt	13:45:31	成功
003	RD-JI0403	Administrator	C:\Users\Administrator\Docum...	test.txt	13:45:29	成功
003	RD-JI0403	Administrator	C:\Users\Administrator\Docum...	授業メモ.txt	13:45:30	成功
003	RD-JI0403	Administrator	C:\Users\Administrator\Docum...	授業資料	13:45:30	成功
003	RD-JI0403	Administrator	C:\Users\Administrator\Docum...	歴史資料.bmp	13:45:30	成功
003	RD-JI0403	Administrator	C:\Users\Administrator\Docum...	連絡事項.txt	13:45:31	成功

1 ファイル回収対象者の選択

①ツリー表示部で「全体」を選択
 ※全員対象だけではなく、グループ、クライアントPCを選択することでグループ単位、個別単位での配布が出来ます。



No.	コンピューター名	名前	状態	実行状態
001	RD-J10401			
002	RD-J10402			
003	RD-J10403			
004	RD-J10404			
005	RD-J10405			
006	RD-J10501		電源オフ	
007	RD-J10502		電源オフ	
008	RD-J10503		電源オフ	
009	RD-J10504		電源オフ	
010	RD-J10505		電源オフ	
011	RD-J10506		電源オフ	

②詳細表示部を右クリック
 「選択」-「全て選択」を選択

③クライアントPCのチェックボックスに✓マークが入る

Attention

- ・Ctrlキーを押しながらグループ及びクライアントPCを選択すると、複数のグループ、クライアントPCが選択できます。

2 ファイル転送機能の選択

「ファイル回収」を選択

3 回収対象ファイルの選択

回収するファイル/フォルダー名を指定

回収するファイルの種類を選択

4 回収元、回収先の選択

回収元、回収先フォルダーの選択



5 「プロファイル」「フルパスで指定」から選択

フォルダーパスを手入力

フォルダーの参照

5 回収の開始

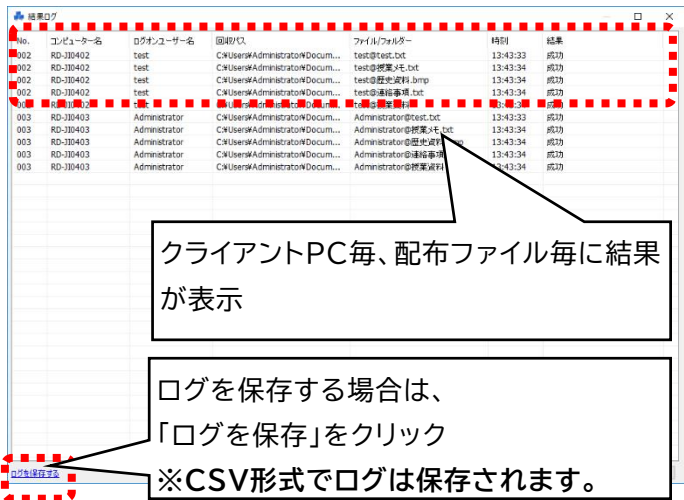


「回収開始」をクリック

7 回収の結果ログを表示



「結果ログ」をクリック



クライアントPC毎、配布ファイル毎に結果が表示

ログを保存する場合は、「ログを保存」をクリック

※CSV形式でログは保存されます。

6 回収結果の確認

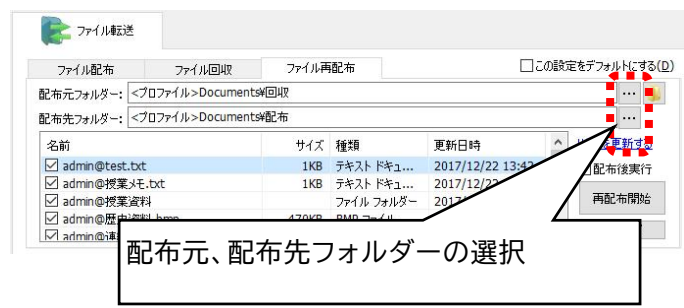


転送の経過や結果が「転送状態」の項目に表示

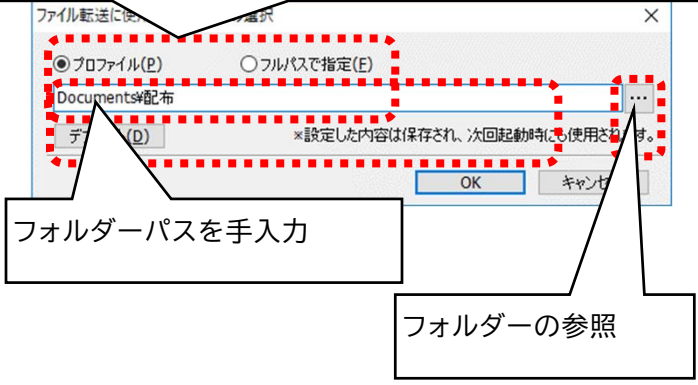
1 ファイル転送機能の選択



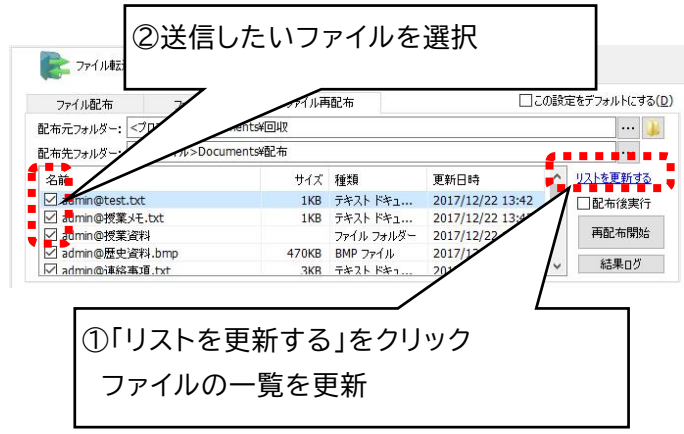
2 配布元、配布先の選択



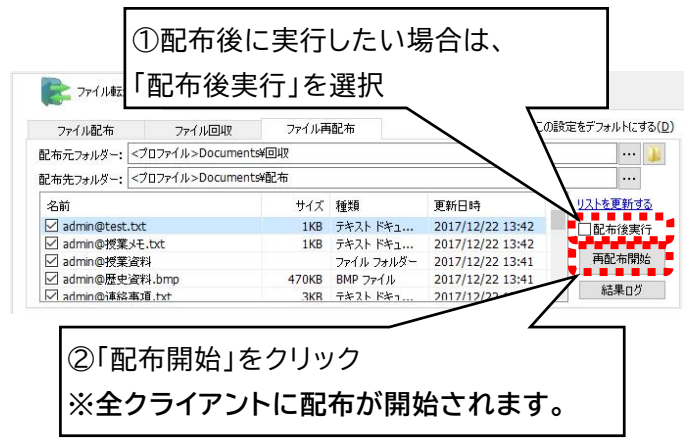
「プロファイル」「フルパスで指定」から選択



3 配布対象ファイルの選択



4 配布の開始

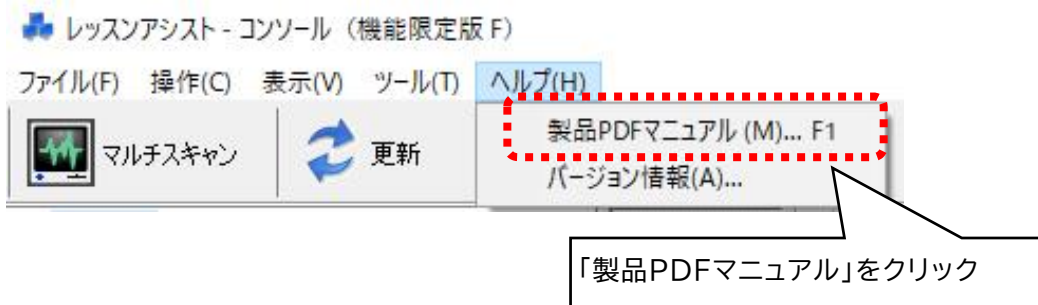


5 配布の開始

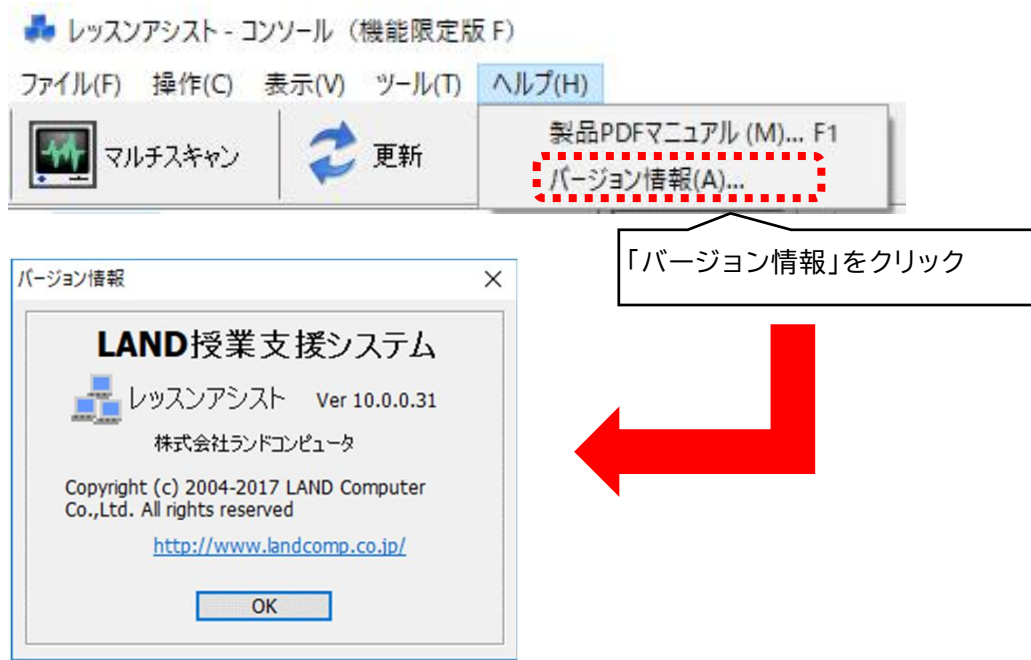


No.	コンピューター名	名前	状態	転送状態
<input type="checkbox"/> 001	RD-J10401		ログオン画面	
<input checked="" type="checkbox"/> 002	RD-J10402	test	使用中	全て成功しました
<input checked="" type="checkbox"/> 003	RD-J10403	Administrator	使用中	全て成功しました
<input type="checkbox"/> 004	RD-J10501		電源オフ	
<input type="checkbox"/> 005	RD-J10502		電源オフ	

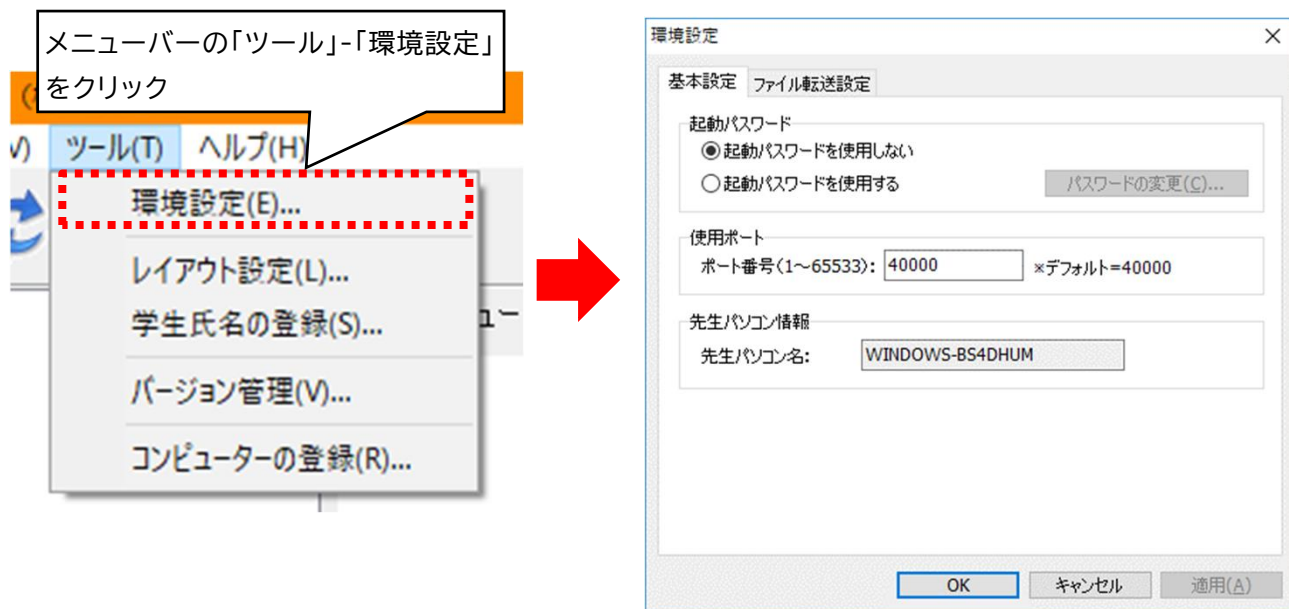
1 製品PDFマニュアルの確認



2 コンソールソフトのバージョン情報の確認



ファイル転送アプリの画面(レッスンアシストコンソール)



各種設定	各種設定の説明
基本設定	起動パスワード/使用ポートの設定、コンソールPCを表示します。
ファイル転送設定	回収ファイルの保存設定や回収ファイルの削除設定ができます。

1 起動パスワードの設定

①「起動パスワードを使用する」を選択

基本設定 ファイル転送設定

起動パスワード
 起動パスワードを使用しない
 起動パスワードを使用する

パスワードの変更(C)...

使用ポート
 ポート番号(1~65533): 40000 ※デフォルト=40000

先生パソコン情報
 先生パソコン名: RD-J104

OK キャンセル 適用(A)

②「パスワードの変更」をクリック



③パスワードを入力

パスワードの変更

パスワードを設定してください。

パスワードの入力

パスワードの確認入力

パスワードの変更(C) キャンセル

④「パスワードの変更」をクリック

Attention

- ・『起動パスワードを使用する』にチェック入れるとパスワードの入力設定を行うまでダイアログを閉じることができません。必ずパスワード設定を行なってください。

2 使用ポートの変更

環境設定

基本設定 ファイル転送設定

起動パスワード
 起動パスワードを使用しない
 起動パスワードを使用する

パスワードの変更(C)...

使用ポート
 ポート番号(1~65533): 40000 ※デフォルト=40000

先生パソコン情報
 先生パソコン名: RD-J104

使用するポートを直接入力
 ※通常変更は必要ありません。

OK キャンセル 適用(A)

Attention

- ・他のソフトウェアとポート番号が競合する場合などにご変更ください。

3 コンソールPCの確認

環境設定

基本設定 ファイル転送設定

起動パスワード
 起動パスワードを使用しない
 起動パスワードを使用する

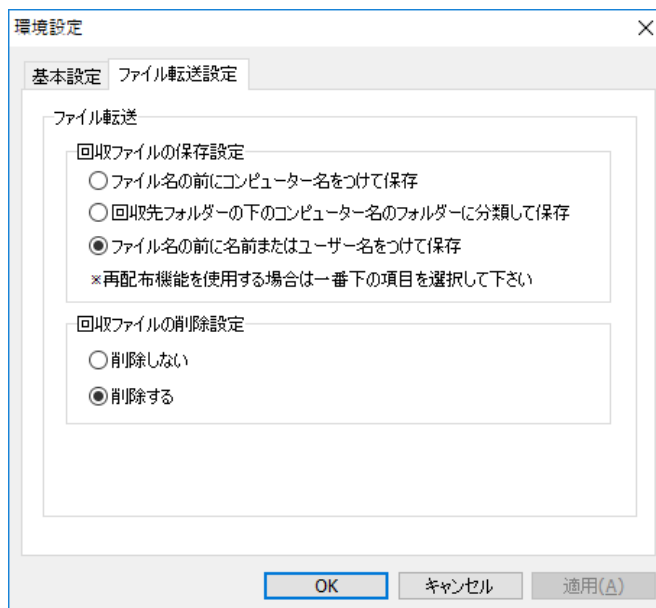
パスワードの変更(C)...

使用ポート
 ポート番号(1~65533): 40000 ※デフォルト=40000

先生パソコン情報
 先生パソコン名: RD-J104

コンソールコンピューター名が表示されます。
 ※基本設定からの変更はできません。

OK キャンセル 適用(A)



回収ファイルの保存設定	回収ファイルの保存設定の説明
ファイル名にコンピューター名をつけて保存	回収したファイルに回収元のコンピューター名をつけて保存します。
回収先フォルダーの下のコンピューター名のフォルダーに分類して保存	回収先フォルダーの下に、回収元のコンピューター名をつけたフォルダーを作成し、ファイルを保存します。
ファイル名の前に名前又はユーザー名をつけて保存	回収元のコンピューターのサインインしている名前または、ユーザー名をつけて保存します。

回収ファイルの削除設定	回収ファイルの削除設定の説明
削除しない	ファイル回収時に回収元のファイルはそのままの状態となります。
削除する	ファイル回収時に回収元のファイルは削除されます。

概要

『C:\ProgramData\LAND\LNUT-PAT_Console』のインストールフォルダー内「LAssist.ini」の内容を書き換えることで、配布・回収フォルダーのデフォルト値を変更できます。

```

LAssist.ini - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
[Setting]
Port=40000
DefaultFullPath=C:
[Haifu_DefaultPath]
Haifumoto_PathType=12
Haifumoto_Profile=Documents¥配布
Haifumoto_FullPath=C:¥
Haifusaki_PathType=12
Haifusaki_Profile=Documents¥配布
Haifusaki_FullPath=C:¥
[Kaisyuu_DefaultPath]
Kaisyuumoto_PathType=12
Kaisyuumoto_Profile=Documents¥回収
Kaisyuumoto_FullPath=C:¥
Kaisyuusaki_PathType=12
Kaisyuusaki_Profile=Documents¥回収
Kaisyuusaki_FullPath=C:¥
[Saihaifu_DefaultPath]
Saihaifumoto_PathType=12
Saihaifumoto_Profile=Documents¥配布
Saihaifumoto_FullPath=C:¥
Saihaifusaki_PathType=12
Saihaifusaki_Profile=Documents¥配布
Saihaifusaki_FullPath=C:¥

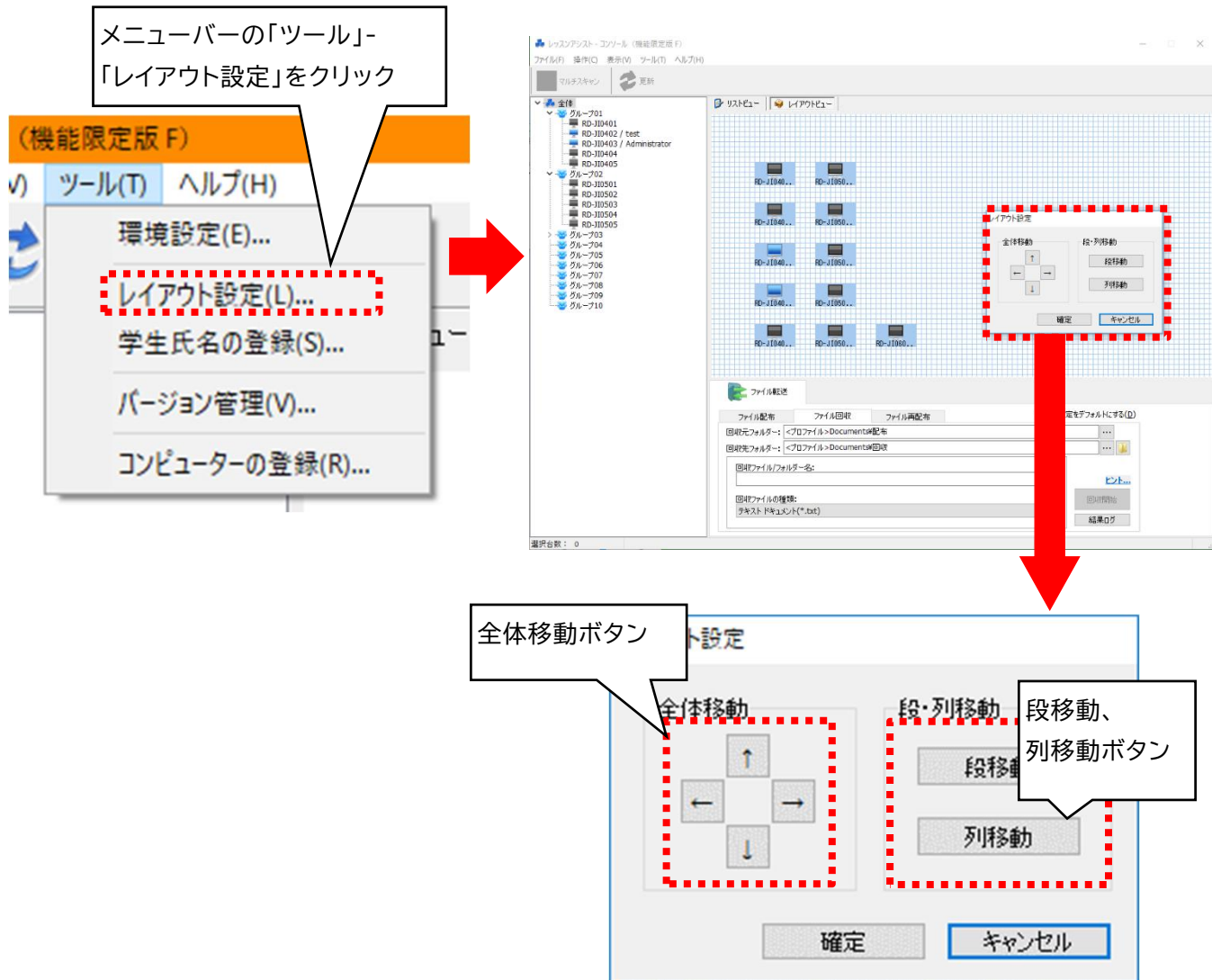
```

セクションの説明

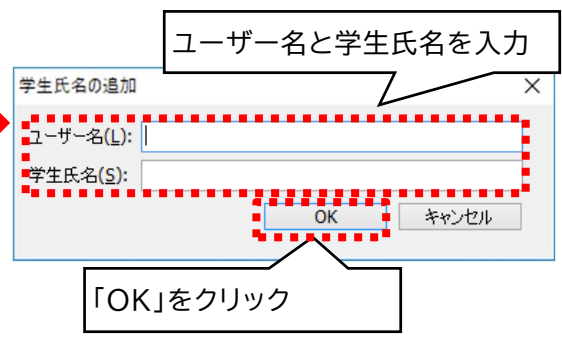
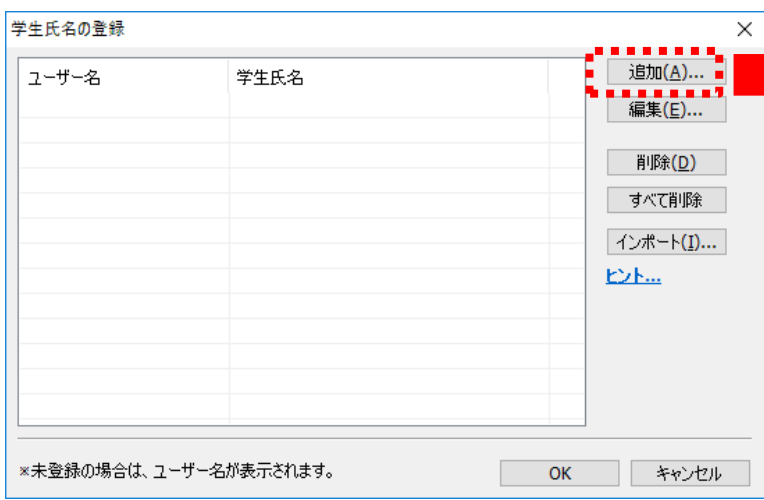
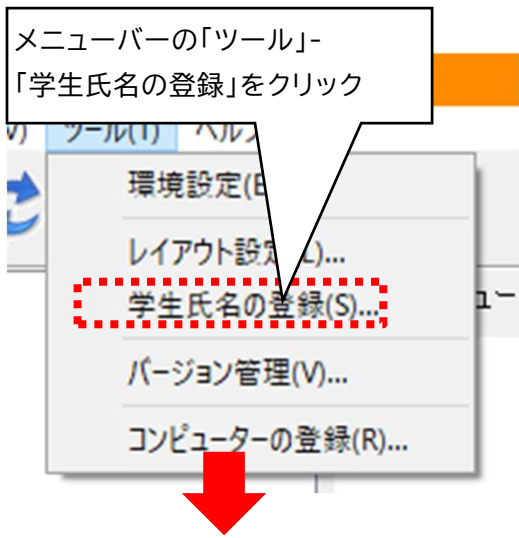
PathType	プロファイル/フルパスのどちらを有効にするかを設定 PathType=12:プロファイル有効 PathType=0:フルパス有効 となり、 Profile=(プロファイルパス) FullPath=(フルパス)でパスを指定します。
Haifumoto	コンソール側の教材配布元フォルダーを設定
Haifusaki	クライアント側の教材配布先フォルダーを設定
Kaisyuumoto	クライアント側の教材回収元フォルダーを設定
Kaisyuusaki	コンソール側の教材回収先フォルダーを設定
Saihaifumoto	コンソール側の再配布元フォルダーを設定
Saihaifusaki	クライアント側の再配布先フォルダーを設定

Attention

- ・レッスンアシスト機能限定版Fの初回設定完了後、iniファイルが自動作成されます。
- ・iniファイルの変更は、レッスンアシスト機能限定版F再起動時に反映されます。

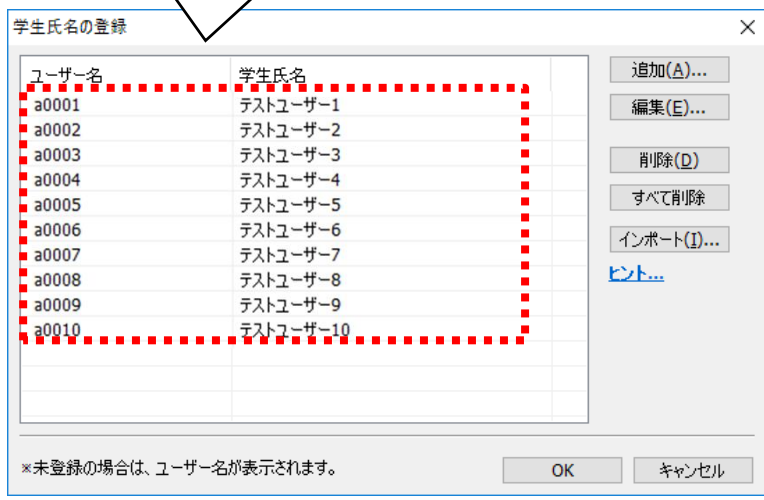


動作	操作方法
クライアントアイコンの一括移動	全体移動ボタンを使用
クライアントアイコンの段移動	<ol style="list-style-type: none"> 1.段移動ボタンを選択 2.水平の赤いガイド線を上下方向に移動したい座席の上端にガイド線を合わせてドラッグ 3.上端がガイド線に接した座席が上下に移動
クライアントアイコンの列移動	<ol style="list-style-type: none"> 1.列移動ボタンを選択 2.垂直の赤いガイド線を左右方向に移動したい座席の左端にガイド線を合わせてドラッグ 3.左端がガイド線に接した座席が左右に移動



登録した学生氏名一覧が表示

多くの学生氏名登録が必要な場合、「インポート」操作を用いて一括で登録することができます。
インポートを行うにはCSV形式のファイルを作成しておく必要があります



9 設定(ファイル転送) - 学生氏名の登録(CSVファイルを使用した登録)

CSVファイルを作成

※インストールフォルダ(初期値は「C:\¥Program Files (x86)\¥LAND\¥LNUT-PATF\¥Console」)に学生氏名登録用のサンプルファイル(【サンプル】学生氏名登録.csv)が保存されています。そちらを参考に作成を行ってください。

1行目は空白または、左図のように入力

	A	B
1	ユーザー名	学生指名
2	a0001	テストユーザー1
3	a0002	テストユーザー2
4	a0003	テストユーザー3
5	a0004	テストユーザー4
6	a0005	テストユーザー5
7	a0006	テストユーザー6
8	a0007	テストユーザー7
9	a0008	テストユーザー8
10	a0009	テストユーザー9
11	a0010	テストユーザー10

1列目に「ユーザー名」
2列目に「学生氏名」を入力

「インポート」を選択
作成したCSVファイルを選択

※未登録の場合は、ユーザー名が表示されます。

インポートされた情報が表示

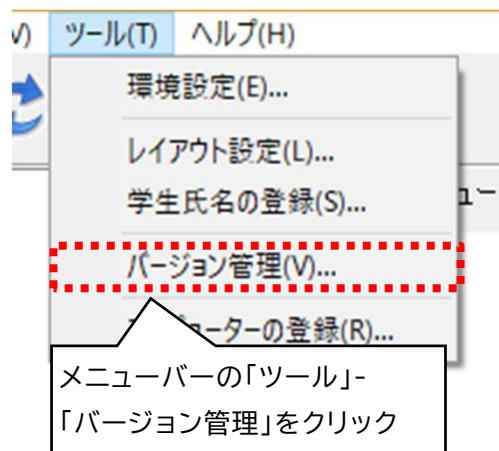
ユーザー名	学生氏名
a0001	テストユーザー1
a0002	テストユーザー2
a0003	テストユーザー3
a0004	テストユーザー4
a0005	テストユーザー5
a0006	テストユーザー6
a0007	テストユーザー7
a0008	テストユーザー8
a0009	テストユーザー9
a0010	テストユーザー10

※未登録の場合は、ユーザー名が表示されます。

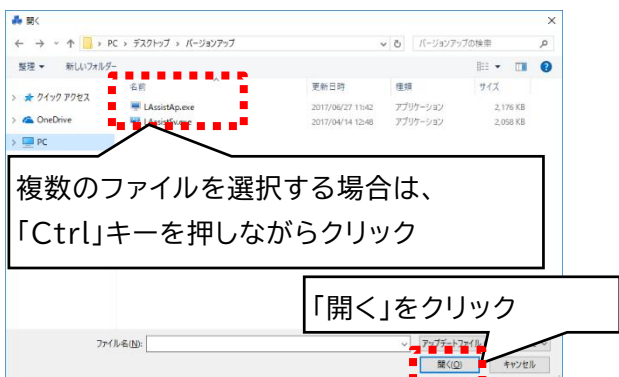
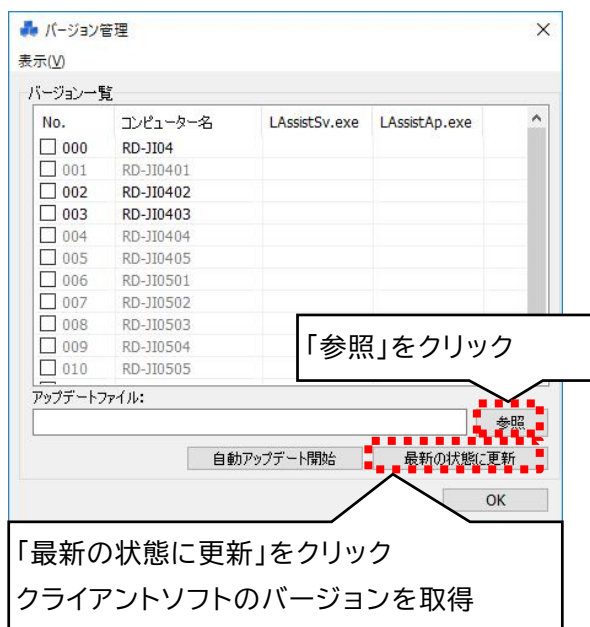
Attention

- 既存の登録学生がいる場合、既存の登録学生数分のデータは反映されません。CSVファイルをインポートする際は「すべて削除」を選択して既存のデータをクリアしてから操作してください。

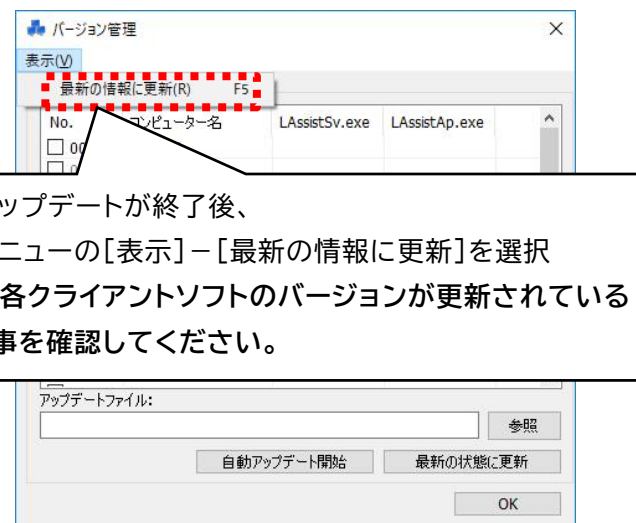
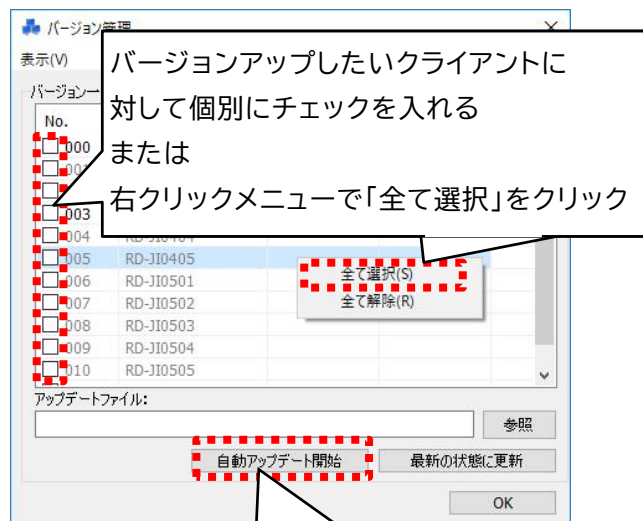
1 バージョン管理を開く



2 アップデートファイルの準備



3 アップデートの開始

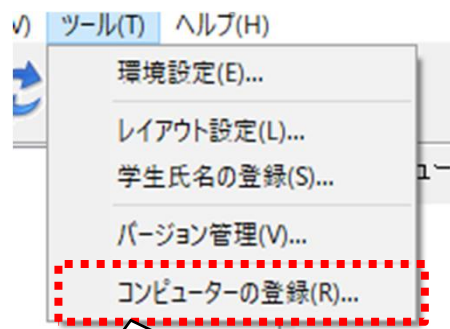


Attention

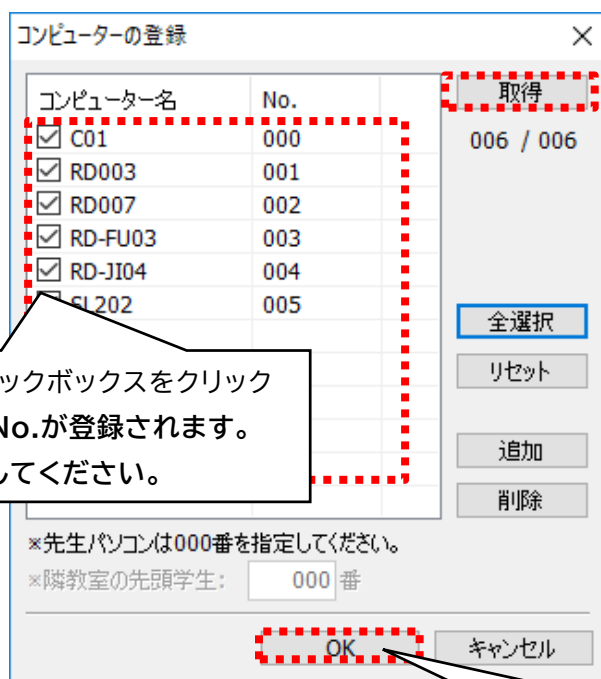
- 両方のファイルをアップデートする場合、必ず両方選択した状態で「開く」をクリックし、同時にアップデートを行ってください。1つずつ実行しようとするとうアップデートできなくなる可能性があります。

概要

教室のクライアントPCの数に増減や、コンピューター名が変更になったなどで、設定をやり直す場合にコンピューターの登録を実施します。



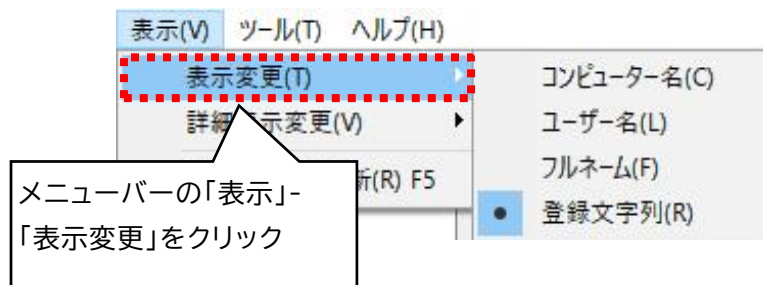
メニューバーの「ツール」->「コンピューターの登録」をクリック



登録したいコンピューター名のチェックボックスをクリック
 ※クリックした順番にクライアントNo.が登録されます。
 ※コンソールPCは000番を指定してください。

Attention

- 現在の設定内容は破棄されずに追加・削除を行えます。
- 設定完了後追加したPCに対してレイアウト設定を行ってください。



表示形式	説明	表示
コンピューター名	クライアントPCの表示方法として、コンピューター名を表示	
ユーザー名	クライアントPCの表示方法として、ユーザー名を表示	
フルネーム	クライアントPCの表示方法として、ユーザープロファイル情報の「フルネーム」のデータを表示	
登録文字列	クライアントPCの表示方法として、学生氏名の登録画面で事前に登録した文字列を表示	

Attention

- ドメイン環境でディレクトリーサービス(ActiveDirectory、OpenLDAP等)をお使いの際は、表示させたい氏名を、ユーザープロファイル情報の「フルネーム」に紐づけられるフィールドに入力してください。ActiveDirectoryの場合、表示名(Displayname)フィールドが「フルネーム」に紐づけられます。
- ワークグループ環境でお使いの場合は、コントロールパネル[ユーザーアカウント]の[ユーザーアカウントの管理]から対象ユーザーのプロパティを表示し、「フルネーム」欄に表示させたい氏名を入力してください。(「ユーザーアカウントの管理」はOSのエディションによってはGUI上からは確認・操作することができません。)
- 65バイト以上の表示名は表示できません。
- ユーザープロファイル情報の「フルネーム」が登録されていない場合は空白になります。
- 設定変更後はコンソールソフトを再起動するか、ツールバーの「更新」ボタンを押してください。
- 学生氏名の登録方法については、「[7 設定\(ファイル転送\) - 学生氏名の登録\(追加による登録\)](#)」をご参照ください。

インソール (機能限定版 F)



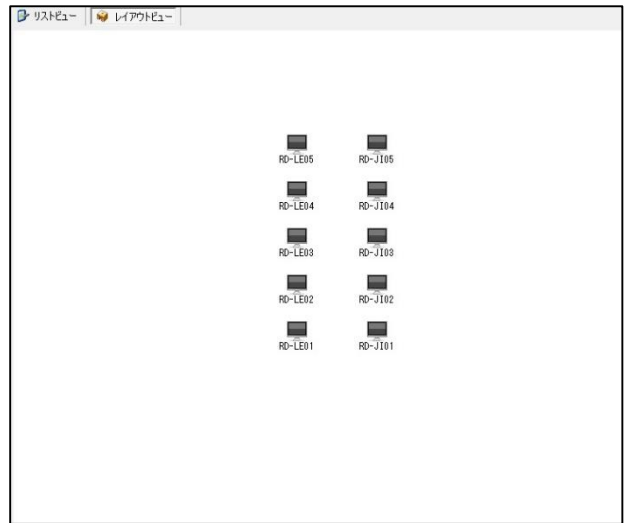
メニューバーの「表示」-
「詳細表示変更」をクリック



リストビュー

レイアウトビュー

No.	コンピューター名	名前	状態	転送状態
<input type="checkbox"/> 001	CS1PC43		電源オフ	
<input type="checkbox"/> 002	NTS1		電源オフ	
<input type="checkbox"/> 003	RD007		電源オフ	
<input checked="" type="checkbox"/> 004	RD-EP01	サインイン画面		
<input type="checkbox"/> 005	RD-FU03		電源オフ	
<input type="checkbox"/> 006	RD-J104		電源オフ	
<input type="checkbox"/> 007	SL202		電源オフ	





Attention

- ・グループ数は10、グループの中の人数は最大255人です。

概要

ファイル転送アプリの動作設定やクライアントに関する情報などが書かれた設定ファイルは以下のパスに保存されます。

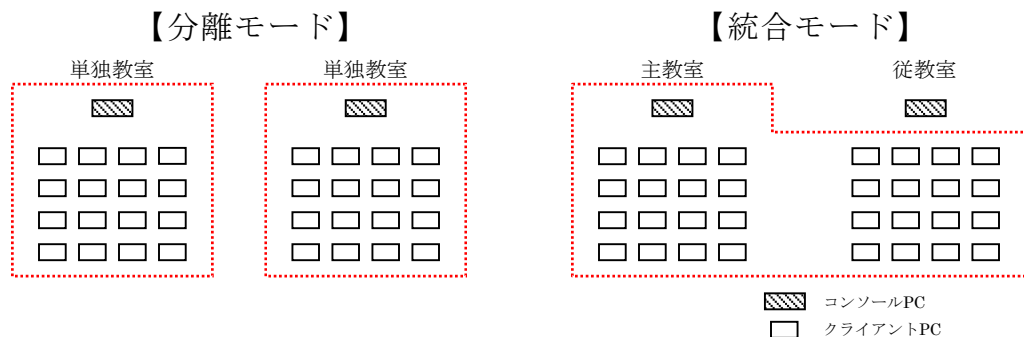
設定情報	パス
全ユーザー共通 の設定情報	C:\ProgramData\LAND\LNUT-PAT_Console

Attention

- ・フォルダ及びフォルダ内のデータを削除や移動すると正しく動作しません。取扱いには十分注意してください。

概要

分離統合機能は、2教室を各々単独で使用する状態(分離モード)と、2教室を統合して一つのコンソールPCから制御する状態(統合モード)を、切替えて使用する機能です。



1 分離統合機能の設定

分離統合機能を使用する場合、初回設定の「コンピューター・クライアントNo.の設定」で従教室の先頭PCを指定する必要があります。

※他の部分の設定は「[3 初回起動時の設定\(マルチスキャン\)](#)」をご参照ください。

設定ウィザード

コンピューター・クライアントNo.の設定

コンピューター名	IPアドレス	No.	取得(a)
<input type="checkbox"/> C01	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> OS1PC43	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> LANDTESTS..	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> LSSERVER	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> NTS1	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> RD003	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> RD004	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> RD007	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> RD-AS01	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> RD-EP01	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> RD-FU03	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> RD-IN01	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> RD-J04	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> RD-S003	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> RD-TO01	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> SL101	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> SL102	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> SL201	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> SL202	192.168.0..		
<input type="checkbox"/> SL203	192.168.0..		

取得(a)
 全選択(S)
 リセット(R)

コンピューター・クライアントNo.の設定を行います。
 ・取得後実行し、コンピューターを取得してください。
 ・クライアントNo.欄にコンピューターにチェックを入れてください。
 ・隣教室の先頭クライアントNo.を設定してください。

※隣教室の先頭クライアント: 000 番

従教室の先頭PCのNo.を入力

Attention

- ・分離統合機能は有償のオプション機能になります。
- ・統合モードの場合、コンソールソフトを起動して操作する側の教室を主教室、統合される側の教室を従教室(隣教室)と呼びます。
- ・統合環境で使用される場合はかならず通信ポートを同一のものに合わせてご使用ください。ポートの設定方法につきましては「[2 セットアップ\(マルチスキャン\)](#)」の章をご参照ください。

2 分離統合機能の設定(ファイル転送アプリ)

分離統合機能を使用する場合、初回設定の「コンピューター・クライアントNo.の設定」で従教室の先頭PCを指定する必要があります。

※他の部分の設定は「[7 初回起動時の設定\(ファイル転送\)](#)」をご参照ください。

コンピューターの登録
×

コンピューター名	No.	
<input checked="" type="checkbox"/> C01	000	
<input checked="" type="checkbox"/> CS1PC43	001	
<input checked="" type="checkbox"/> NTS1	002	
<input checked="" type="checkbox"/> RD007	003	
<input checked="" type="checkbox"/> RD-EP01	004	
<input checked="" type="checkbox"/> RD-FU03	005	
<input checked="" type="checkbox"/> RD-JI04	006	
<input checked="" type="checkbox"/> SL202	007	
<input checked="" type="checkbox"/> SLP01	008	

取得

009 / 009

全選択

リセット

追加

削除

※先生パソコンは000番を指定してください。

※隣教室の先頭学生: 000 番

従教室の先頭PCのNo.を入力

OK

キャンセル

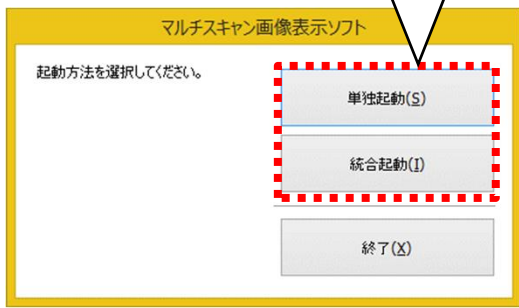
Attention

- 統合モードの場合、コンソールソフトを起動して操作する側の教室を主教室、統合される側の教室を従教室(隣教室)と呼びます。
- 統合環境で使用される場合はかならず通信ポートを同一のものに合わせてご使用ください。ポートの設定方法につきましては「[6 セットアップ\(ファイル転送\)](#)」の章をご参照ください。

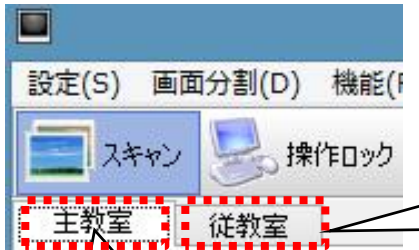
スタートアップまたはデスクトップのショートカットからの起動



2教室分離統合の動作モードを選択



単独授業	単独の教室で使用するモードで、2教室は別々の制御になり、各々の教室のコンソールPCから自教室のみを制御する分離モードでシステムが起動します。クライアントPCを100台まで登録することができます。
統合授業	2教室を連動して一つのコンソール画面から使用するモードで、システムを起動します。クライアントPCを一教室あたり100台まで、計200台までのクライアントを登録することができます。



「主教室」タブをクリック
コンソール起動した教室を表示

「従教室」タブをクリック
主教室制御される側の教室を表示

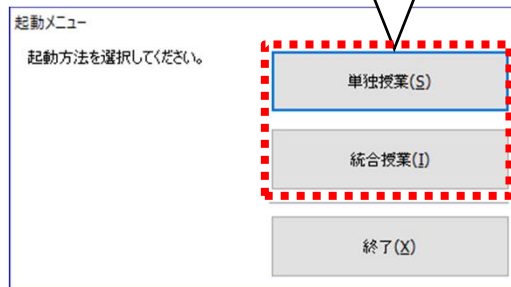
Attention

- ・分離統合機能は有償のオプション機能になります。
- ・統合モードで起動する前に従教室のコンソールソフトは起動しないでください。
- ・レッスンアシスト(ファイル転送アプリ)と同じ分離統合モードを選択し、ご使用ください。統合モード起動中に従教室側のコンソールソフトを起動すると「制限モード」として起動します。制限モード時はスキャンのみ操作を行うことができ、操作ロック・ブラウザロック・電源管理制御などの操作は行えません。

スタートアップまたはデスクトップのショートカットからの起動



2教室分離統合の動作モードを選択



単独授業	単独の教室で使用するモードで、2教室は別々の制御になり、各々の教室のコンソールPCから自教室のみを制御する分離モードでシステムが起動します。 クライアントPCを100台まで登録することができます。
統合授業	2教室を連動して一つのコンソール画面から使用するモードで、システムを起動します。 クライアントPCを一教室あたり100台まで、計200台までのクライアントを登録することができます。

Attention

- ・ 分離統合機能は有償のオプション機能になります。
- ・ 統合モードで起動する前に従教室のコンソールソフトは起動しないでください。
- ・ マルチスキャン画像表示ソフトと同じ分離統合モードを選択し、ご使用ください。
- ・ 分離統合機能(オプション)を使用する場合は、分離モードと統合モードで個別に設定情報を保存します。分離モードと統合モードで各々設定を行ってください。

1 通信ポート(マルチスキャン)

コンソール側	クライアント側
9000	9001
9006	9002
9007	9004
	9005
	9010
	5900(UltraVNC)

Attention

- 上記表内の「9000」は、セットアップ時に「ポート番号の設定」で設定した値になります。初期値は「9000」です。他のソフトと競合する場合、コンソール・クライアントともに同じ値に変更してください。
- 設定した値の他に複数のポートを使用します。
(例:コンソールソフト初期値で運用する場合、は9000・9006・9007が使用されます。)

2 通信ポート(ファイル転送アプリ)

コンソール側	クライアント側
40000	40001
40001	40002
40002	40004
40003	40007
40004	
40005	
40007	

Attention

- 上記表内の「40000」は、セットアップ時に「ポート番号の設定」で設定した値になります。初期値は「40000」です。他のソフトと競合する場合、コンソール・クライアントともに同じ値に変更してください。
- 設定した値の他に複数のポートを使用します。
(例:コンソールソフト初期値で運用する場合、はTCPの40000・40003、UDPの40000が使用されます。)

3 セキュリティ・ウイルス対策ソフトの除外設定

セキュリティ・ウイルス対策ソフトをインストールおよび実行している環境でお使いの場合、それらソフトのファイアウォール機能や監視機能により、本製品の通信や動作がブロックされ、正常に動作しない場合があります。

通信や動作がブロックされないように、ご利用のセキュリティ・ウイルス対策ソフトのマニュアルを参照して設定を変更し、本製品の通信や実行を許可してください。

ランドコンピュータでは、お客様に当社製品を安心してご使用していただくために、サポート体制の充実を図っております。製品の接続や操作方法についてのご質問や、万一、製品が正常に作動しない場合は、下記のサポート部までお問い合わせください。

サポート部へのお問い合わせは

1. オンライン受付:

https://www.landcomp.co.jp/support/repair/rep_online.htm

2. E-Mail:

support@landcomp.co.jp

3. フリーダイヤル:

0120-161639 (携帯電話でもご利用可能です)

受付時間: 9:00~12:00 13:00~17:30

(土日祝日を除く)

4. FAX:

096-286-9342

受付時間: 24時間

・当社に修理サービスをご依頼の際のお願い

まず、上記サポート部にご連絡ください。担当者より、修理受付番号と修理品返送先を記載した「修理受付連絡書」をメールもしくはFAXでお知らせします。

ご返送いただく製品の外箱に「修理受付番号」及び「修理品」と明記の上、保証書を添付して修理品返送先にご返送ください。修理受付番号のないものは処理しかねる場合もございますので、ご了承ください。

ランド授業支援システム

◇ < LNUT-MSDR マルチスキャン画像表示ソフト ユーザーズガイド > ◇

発行所: 株式会社ランドコンピュータ

Printed In Japan

< 本 社 >

〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-4-17 新大阪上野東洋ビル

TEL 06(6304)8424 FAX 06(6307)2121

< 熊本テクニカルセンター >

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原 テクノリサーチパーク内

TEL 096(286)9341 FAX 096(286)9342

241125-014c

